

まちづくり報告書

(令和3年度分)

令和4年9月
企画調整課

- ◆令和4年9月時点で取得できない指標は、空欄又は暫定値となっています。
- ◆「対基準値」「対前年度」「目標達成度」の各マークは、単に指標実績値のみによるのではなく、主管課が総合的に判断し選択している場合があります。

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 01	安全な水道水の安定供給	1
施策 02	汚水処理の推進	5
施策 03	秩序ある市域の整備	9
施策 04	公共交通の充実	13
施策 05	道路・水路の整備と保全	15

政策 02 環境が守られたまちづくり

施策 01	生活環境・自然環境の保全	17
-------	--------------	----

政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 01	農業の振興	21
施策 02	地域に活力をもたらす産業・雇用の創出	25
施策 03	観光の振興	29

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 01	子育て支援の充実	33
施策 02	健康づくりの推進	37
施策 03	高齢者福祉の充実	41
施策 04	障害者（児）福祉の充実	45
施策 05	セーフティネットの推進	47
施策 06	地域福祉の推進	49

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 01	学校教育の充実	53
施策 02	生涯学習・スポーツの推進	59
施策 03	男女共同参画社会の推進	63
施策 04	人権尊重と同和教育の推進	65

政策 06 安心して安全に暮らせるまちづくり

施策 01	防災・減災対策の推進	67
施策 02	安全な暮らしの推進	71
施策 03	消防・救急・救助体制の整備充実	75

政策 07 持続可能なまちづくり

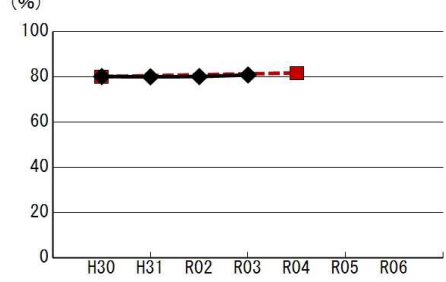


施策 01	市民協働の推進	79
施策 02	積極的な広報・広聴の展開	81
施策 03	持続可能な行政経営	83
施策 04	持続可能な財政運営	87
施策 05	市民から信頼される職員・組織づくり	91

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 01 安全な水道水の安定供給

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	上水道普及率 (%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【上下水道課】	79.9	80.0	80.7	81.6
評価	(状況) 微増となった。 (原因) 給水人口が増加したため、上水道普及率としては微増となった。					対前年度
	上水道普及率 = 給水人口 / 給水区域内人口					目標達成度
						 (横ばい)
						目標達成度
						 (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 管網の整備

指標	給水戸数(累計) (戸) 【上下水道課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		16,094	16,331	16,631	16,937	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度比300戸増である。 (原因) 給水区域内人口は29人増だが、給水戸数は300戸増である。人口に対しての戸数の増が大きいため、集合住宅の増加が主な原因と考えられる。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 ■ (中)

基本事業01 管網の整備

指標	管整備延長(累計) (m) 【上下水道課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		250,921	253,243	255,985	253,900	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度比2,742m増加した。 (原因) 管整備延長は順調に増加している。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 ■■ (高)


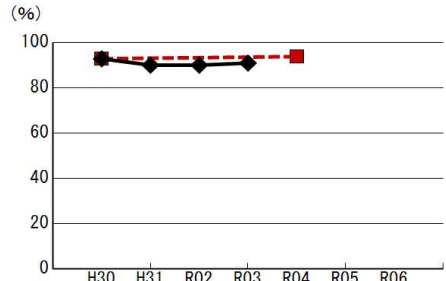


基本事業01 管網の整備

指標	管路経年化率(老朽化率) (%) 【上下水道課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		34.67	34.67	34.20	34.90	☀️ (向上)
評価	(状況) 微減となったがほぼ横ばいである。 (原因) 新たに法定耐用年数を経過した管路延長と、管路更新延長の伸び率がほぼ変わらなかったため、現状維持ができている。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)


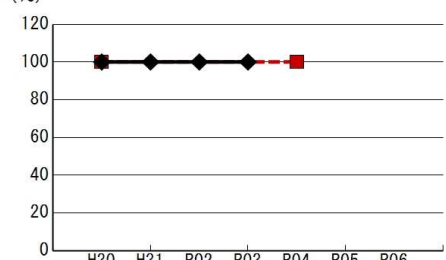


基本事業02 浄水・配水施設の維持管理

指標	浄水・配水施設の維持管理上のトラブル数(件) 【上下水道課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 施設のトラブルはなかった。 (原因) 良好な維持管理を行い、安定供給ができています。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)


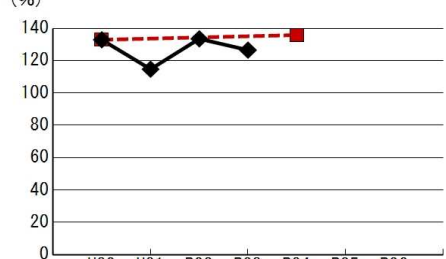


基本事業02 浄水・配水施設の維持管理

指標	有収率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【上下水道課】	89.9	89.9	90.81	93.7	 (横ばい)
評価	(状況) 前年度より若干向上している (原因) 配水管の老朽管更新事業を継続して行っていく必要がある。					対 前年度
						 (横ばい) 目 標 達成度  (低)


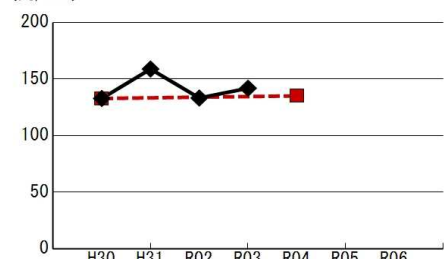


基本事業02 浄水・配水施設の維持管理

指標	水質基準適合率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【上下水道課】	100.0	100	100	100	 (向上)
評価	(状況) 水質基準適合率は100%である。 (原因) 良好な水質管理ができています。					対 前年度
						 (向上) 目 標 達成度  (達成)

基本事業03 健全な上水道経営の推進

指標	経常収支比率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【上下水道課】	114.7	133.5	126.5	135.8	 (低下)
評価	(状況) 前年度比6.4ポイント減である。 (原因) 昨年度より委託、修繕等が増えたことによる支出増により指標が減少した。					対 前年度
						 (低下) 目 標 達成度  (低)

基本事業03 健全な上水道経営の推進

指標	給水原価（円/m3）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【上下水道課】	158.7	133.1	141.73	135	 (低下)
評価	(状況) 昨年度比8.6ポイント増である。 (原因) 昨年度より委託、修繕等が増えたことによる支出増により指標が減少した。					対 前年度
						 (低下) 目 標 達成度  (低)

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 02 汚水処理の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	汚水処理率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【上下水道課】	65.4	73.4	77.8	70.7
評価	(状況) 前年度比4.4ポイント増。 (原因) 【下水道】 整備面積の増加に伴い、下水道利用人口は増加した。 【合併浄化槽】 合併浄化槽使用人口を精査した結果、合併浄化槽使用人口が増加した。 汚水処理率の目標は達成している。引き続き、市民に対し、補助金制度を含めた情報発信に努める。					対前年度
						☀️ (向上)
						🏰 (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 公共下水道の整備推進

指標	下水道整備進捗率 (%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	47.4	48.6	64.8	52.5	☀️ (向上)
評価	(状況) 年々微増の状況であるが、今年度は前年度比16.2ポイントと大幅増。 (原因) 今年度20.32haを整備し、実整備面積は524.5haとなった。逆に全体計画については計画の見直しにより227.5ha減で809.1haとなった結果、64.8%と前年度より大幅に上昇している。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業01 公共下水道の整備推進

指標	下水道接続率 (%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	73.3	75.0	74.7	74.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度比0.3ポイント減。 (原因) 処理区域内人口は504人増、下水道接続人口は322人増となり、処理区域内人口の増分に比べ下水道接続人口の増分が鈍かったため前年度比0.3ポイント減となった。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 汚水処理施設の維持管理

指標	下水道施設の維持管理上のトラブル件数 (件)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 維持管理のトラブルは発生していない。 (原因) 計画的な維持管理により、トラブルは発生していない。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 汚水処理施設の維持管理

指標	矢部川浄化センターの放流水の水質 [BOD値] (mg/L)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	0.8	0.7	0.7	8.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 基準値を下回っている。 (原因) 矢部川浄化センターにおいて適正に汚水処理がなされており、放流水の水質は基準値を下回っている。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 合併処理浄化槽による汚水処理の推進

指標	下水道供用開始区域外の浄化槽処理人口普及率(%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	45.5	57.4	63.8	50.0	☀ (向上)
評価	(状況)前年度比6.4ポイント増。 (原因)6.4ポイント増の要因は、合併処理浄化槽使用人口を精査し、浄化槽使用人口が増加したため。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度 ☀ (達成)

基本事業04 健全な下水道経営の推進

指標	経費回収率(%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	58.1	65.5	69.9	55.2	(比較不可)
評価	(状況)前年度比4.4ポイント増 (原因)汚水処理費が490万円減(委託料360万減、支払利息590万減)、下水道使用料が1,500万円増となったことが4.4ポイント増につながった。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度 ☀ (達成)

基本事業04 健全な下水道経営の推進

指標	汚水処理原価(円/m3)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【上下水道課】	328.6	274.5	256.2	324.5	(比較不可)
評価	(状況)前年度比18.3円減。 (原因)汚水処理費が490万円減額、有収水量が89,000m3増加したことが要因。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度 ☀ (達成)

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 03 秩序ある市域の整備

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	住宅、商業、農地、工場、公園などが計画的に開発・配置されている（乱開発されていない）と思う市民の割合（％） 【都市対策課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
			55.0	61.3	56.7	68.3
評価	(状況) 前年度比4.6ポイント減少し悪化した。 (原因) 下妻校区、二川校区のポイントが大きく悪化している。過疎化による小学校再編や、高江産業団地の凍結などが、計画的な開発が行われていないと判断されたと考えられる。	(％) 				対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						■■■ (高)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 計画的な土地利用と市街地整備の充実

指標	全建築申請中に占める都市計画用途地域内の申請割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【都市対策課】	24.57	38.4	28.4	41.0
評価	(状況) 前年度比10ポイント減少し大きく悪化した。 (原因) 用途地域外の西牟田校区、松原校区、水田校区、前津の建築確認申請の増加により、用途地域内申請割合が減少したと考えられる。 申請件数は、筑後市が調査報告書を作成している件数。					対前年度
		(低下)	目標達成度			
						(中)

基本事業01 計画的な土地利用と市街地整備の充実

指標	都市計画用途地域内農地率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【都市対策課】	16.8	16.6	15.7	15.0
評価	(状況) 前年度比0.9ポイント減少し向上した。 (原因) 目標値に近づいているが、用途地域内の土地において都市的利用の鈍化、都市化が飽和に近づいていることが考えられる。					対前年度
		(向上)	目標達成度			
						(高)

基本事業02 公園の整備・維持管理

指標	市民1人当たり公園面積（㎡/人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【都市対策課】	16.2	16.2	16.3	16.5
評価	(状況) R2から0.1㎡増加した。 (原因) R2からR3にかけて、新規の公園建設は行われていないが人口減少によるものと思われる。					対前年度
		(向上)	目標達成度			
						(高)

基本事業02 公園の整備・維持管理

指標	公園の量・施設に満足している市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【都市対策課】	75.5	77.1	83.3	85.0
評価	(状況) R2の77.1%から6.2ポイント増加し、83.3%となった。 (原因) 公園の量は増えてはいないため、井原堤水辺公園遊具の修繕のほか、遊具の小規模な修繕・補修に取り組んだ結果だと考えられる。					対前年度
		(向上)	目標達成度			
						(中)

基本事業02 公園の整備・維持管理

指標	公園遊具施設の機能に関する総合判定結果が健全である割合(%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値												
		【都市対策課】	39	56.7	25.4	45	☂ (低下)											
評価	(状況) R2の56.7%からR3は25.4%と大きく低下した。 (原因) 年々、遊具の老朽化が進んでおり、遊具の総合判定基準をクリアするのが厳しくなっているため。	<table border="1"> <caption>実績値推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>56.7</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>25.4</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (%)	H30	42	H31	39	R02	56.7	R03	25.4	R04	45	対 前年度
		年度	実績値 (%)															
H30	42																	
H31	39																	
R02	56.7																	
R03	25.4																	
R04	45																	
						☂ (低下)												
						目 標 達成度												
						■ ■ ■ (低)												

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 04 公共交通の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	鉄道に満足している市民の割合 (%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【都市対策課】	73.3	76.8	80	83.4
評価	(状況) 前年度比3.2ポイント増加し向上した。					対前年度
	(原因) ダイヤ改正はあったものの、新型コロナ起因による減便等は行われず、生活様式の変化に伴う公共交通の利用状況の変化(利用者の減少)に左右されずに運行しているためと考えられる。					☀️ (向上)
						目標達成度 ■■■ (高)

指標	路線バス・コミュニティ自動車、タクシーに満足している市民の割合 (%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【都市対策課】	59.3	68.9	74.9	67.2
評価	(状況) 前年度比6ポイント増加し大きく向上した。					対前年度
	(原因) R2年度から水田校区、西牟田校区にてコミュニティ自動車運行が開始され、エリア拡大になったことが主な要因と考えられる。					☀️ (向上)
						目標達成度 ■ (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生活交通の充実

指標	市内移動の交通手段に困っている市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【都市対策課】	22.4	16.1	13.6	16.5	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比2.5ポイント減少し向上した。 (原因) R2年度から水田校区、西牟田校区にてコミュニティ自動車運行 が開始され、エリア拡大になったことが主な要因と考えられ る。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☑ (達成)

基本事業01 生活交通の充実

指標	市内を運行する路線バス及びコミュニティ自動車の路線数（本）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【都市対策課】	18	19	19	23	☀ (向上)
評価	(状況) 路線バスは現状維持、コミュニティ自動車も運行団体、路線数 ともにR2から変更なし（路線バス6本、コミュニティ自動車13 本）。 (原因) R2から変化はないが、現在コミュニティ自動車運行を開始した い地域と協議中であり、導入に向けて支援していく。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■■ (高)

基本事業02 鉄道利用環境の充実

指標	JR在来線3駅の1日乗降客数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【都市対策課】	7,997	5,916	6,454	8,276	☔ (低下)
評価	(状況) R2とR3の実績値を比較し538人増加した。 (原因) 長引く新型コロナの影響により、コロナ前までには回復してい ない。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■■ (中)

基本事業02 鉄道利用環境の充実

指標	JR新幹線筑後船小屋駅の1日乗降客数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【都市対策課】	1,039	694	794	1,332	☔ (低下)
評価	(状況) R2とR3の実績値を比較し100人増加した。 (原因) 長引く新型コロナの影響により、コロナ前までには回復してい ない。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■■ (中)

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 05 道路・水路の整備と保全

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	幹線道路に満足している市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【道路課】	81.2	80.8	83.5	88.0	☂ (低下)
評価	（状況）前年度80.8%から2.7ポイント増となり向上した。 （原因）国道209号の事業では用地確保状況が見えてきたり、県道の事業ではバイパス整備などの進捗により、新しく道路が完成する様子が見えてきたため前年度より満足度が向上したと考えられる。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ■ ■ ■ (低)
指標	生活道路に満足している市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【道路課】	65.0	67.0	74.6	75.3	☂ (低下)
評価	（状況）前年度67.0%から7.6ポイント増となり目標値に近い数値となった。 （原因）社交金や公適債を活用して令和3年度より比較的大規模の大きい舗装補修を実施したことや直営班での道路パトロールによる穴埋めや陥没などの初期対応を迅速に実施したことで指標が向上したと考えられる。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ■ ■ ■ (中)
指標	河川・水路の整備状況に満足している市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【水路課】	82.9	72.9	77.3	80.0	☁ (横ばい)
評価	（状況）前年度72.9%から4.4ポイント増となり、改善した。 （原因）危険個所の改修や緊急浚渫など減災対策事業を重点的に推進しており、これらの対策により治水安全度が向上し、満足度の改善に繋がったと考えられる。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ■ ■ ■ (中)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 幹線道路の整備促進

指標	幹線道路整備延長(累計) (km)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【道路課】	4.4	4.9	6.1	7.4	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度0.5kmから1.2kmと増加し、年間目標(1.0km/年)を上回った。 (原因) 用地確保部分の工事施工が進み、用地取得についても予定していた分は取得出来たため整備延長が伸びた。					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■ (低)

基本事業02 生活道路の整備推進と維持管理

指標	生活道路補修・改良延長(累計) (km)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【道路課】	26.9	34.5	42.6	41.4	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度7.6kmから0.5km増加の8.1kmとなり、向上した。年間目標値(6.0km/年)に対しては達成している。 (原因) 改良事業において、用地取得が完了したことにより工事が可能となったため整備延長が昨年度より増加している。					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理

指標	河川・水路などの機能整備要望への対応率 (%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【水路課】	72.0	72.5	75.3	75.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度から2.8ポイント向上し、目標値を達成した。 (原因) 緊急浚渫推進事業や治水対策事業など市民の要望に応えた効果もあり、対応率の向上に繋がった。					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理

指標	浸水・冠水件数 (件)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【水路課】	79	6	4	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度の6件に対してR2年度は4件となり、改善した。 (原因) 市営河川やクリークの緊急浚渫事業、水路河川の緊急自然災害防止対策事業などの効果もあり、浸水被害の箇所数が減少したと考えられる。					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■ (中)

政策 02 環境が守られたまちづくり

施策 01 生活環境・自然環境の保全

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	市民1人1日当たりの家庭系ごみの排出量（資源除く）（g） 【かんきょう課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		490.6	496.8	493.5	460.0	☂ (低下)
評価	（状況）微減している。 （原因）コロナウイルス感染防止で、家での生活時間が増え、片付けごみの廃棄量が増えたため、令和2年度では家庭ごみが増加していたが、R3では少しづつ普通の生活に戻りつつあるため、ごみの量が減少した。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ■■■ (低)

指標	生活環境に関する苦情解決率（過去3年平均）（%） 【かんきょう課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		87.1	95.2	93.6	95.0	☀ (向上)
評価	状況) H31 97件/100件 97.0% R02 126件/135件 93.3% R03 98件/108件 90.7% 計 321件/343件 93.6% （原因）雑草苦情の発生元へ連絡しても管理者等が対応されず、それ以上の市の指導ができないケースもあり、解決率の3年平均では低下している。					対前年度 ☂ (低下)
						目標達成度 ☀ (達成)

指標	市内の自然環境に満足している市民の割合（%） 【かんきょう課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		87.7	89.0	91.1	93.0	☁ (横ばい)
評価	（状況）向上した。 （ 35+ 95+ 323 ）/497 = 91.1% （原因）若干の向上である。古島校区においては100%（14件）が「ふつつ」以上になっている。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ■■■ (高)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標	減量化に関する実践項目数(7項目中)(項目)	実績値(H31)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R04)	対基準値
	【かんきょう課】	2.5	2.8	2.9	3.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 1513項目/521人=2.9 (原因) 食品ロス削減に対する意識向上やレジ袋有料化の意識浸透も進み、ごみ減量化の意識が向上したものと推測される。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						■■■ (高)

基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標	リユースを意識して行動している市民の割合(%)	実績値(H31)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R04)	対基準値
	【かんきょう課】	35.8	28.7	32.4	45.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 169人/521人=32.44% (原因) 市民アンケート項目のうち、リサイクルショップの他にメルカリ等オークション利用者が8.9% 14.5%と上昇。この他中古品購入・譲り受け等の利用者も含めリユース品を使用する人が昨年より増加。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						■■ (中)


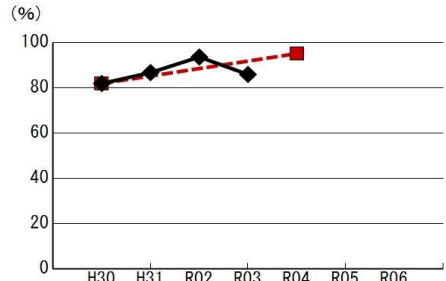


基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標	資源化(リサイクル)率(%)	実績値(H31)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R04)	対基準値
	【かんきょう課】	16.5	14.2	12.24	22.0	☔️ (低下)
評価	(状況) 低下している。 (原因) 新型コロナウイルスの影響で、海外輸出できず古布が資源物から可燃物となり地域での分別収集量が低下。また、ごみ減量等の意識は向上しているが、民間事業者の資源回収BOXも増え市が把握できない資源物も多く、資源化率に計上されない状況がある。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度
						■■ (低)


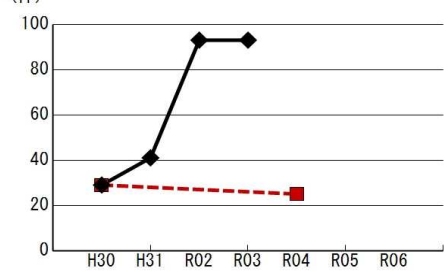


基本事業02 環境にやさしいライフスタイルの実践

指標	地球温暖化防止に役立つ生活を実践している市民の割合(%)	実績値(H31)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R04)	対基準値
	【かんきょう課】	34.7	34.2	42.8	40.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 223人/521人=42.8% 昨年度より8.6%増加している。 (原因) 特に「照明器具はLED型にしている」「省エネ型給湯器(エコット等)の設置」「蛇口のごまめ止め」を選択している割合が増加しており、新型コロナウイルスによる在宅が増えたことで省エネに取り組む人が増えた影響もある。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)


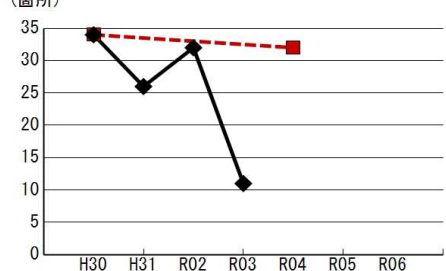


基本事業03 生活環境の改善

指標	空地に関する苦情解決率（過去3年平均）（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【かんきょう課】	86.6	93.5	85.8	95.0	 (横ばい)
評価	(状況) H31 47件 / 49件 95.9% R02 36件 / 41件 87.8% R03 20件 / 30件 66.7% 計 103件 / 120件 85.8%					対 前年度
	(原因) R3年度は低下している。対応依頼通知を行っても放置される場合も少なくない。また高齢化もあり、すぐに解決とならないケースもある。					 (低下)
						目 標 達成度
						 (中)

基本事業03 生活環境の改善

指標	ペット、野焼、騒音、悪臭等に関する苦情件数（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【かんきょう課】	41	93	93	25	 (横ばい)
評価	(状況) ペット 5件 悪臭 5件 野焼き 35件 水質 5件 騒音 5件 その他 27件 合計 93件					対 前年度
	(原因) 農地周辺の宅地化が進み、農業による野焼きの通報が多くなった。					 (横ばい)
						目 標 達成度
						 (低)

基本事業03 生活環境の改善

指標	一般廃棄物が不法投棄されている場所の数（箇所）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【かんきょう課】	26	32	11	32	 (向上)
評価	(状況) 前回と比較して件数は減少した。					対 前年度
	(原因) 不法投棄対策の強化や家電リサイクル制度の普及啓発の効果等。					 (向上)
						目 標 達成度
						 (達成)

政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 01 農業の振興

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	農業所得者の総所得金額（百万円）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【農政課】	866	944	939	900
評価	R03実績値は、R02の税務情報	(百万円)				☁️ (横ばい)
	(状況) 令和2年分の総所得金額が前年と比べ500万円程度減少している。(現時点ではR3年分税務情報取得できないため) (原因) 茶以外の作物販売額は前年より増えたものの、燃料や肥料・農薬等の価格が上昇傾向(3%程度)で推移したため、農業所得に反映出来なかった。					🏰 (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 施設園芸等農業の展開

指標	園芸、特産作物の栽培面積 (ha)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【農政課】	195.1	193.5	190.1	190.5	☔ (低下)
評価	(状況) 前年比1.7% (3.4ha) が減少している。 (原因) トマト、梨及び花きの栽培面積減少が主な原因である。トマトからイチゴなど作物転換が進んでいるため、栽培農家数は維持できているが、栽培面積は減少傾向となっている。					対前年度
						☔ (低下) 目標達成度 ■ (低)

基本事業01 施設園芸等農業の展開

指標	園芸、特産作物の販売額 (百万円)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【農政課】	24,427	22,948	23,715	25,000	☔ (低下)
評価	(状況) 前年比3% (7億6千万円) 程度販売額が増加している。 (原因) 菊及び野菜の販売額減少があったものの、巣ごもり需要により果樹販売が好調となり、全体としては前年を上回る販売額となっている。					対前年度
						☀ (向上) 目標達成度 ■ (高)

基本事業02 生産体制の維持

指標	担い手が経営している市内農地の集積率 (%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【農政課】	75.1	74.7	74.6	74.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年比0.1% (約7.6ha) 減少している。 (原因) 八女市の農地所有適格法人が筑後市から撤退したことが大きな原因である。その他に認定新規就農者が認定農業者になっていないために集積率が減少したものの。					対前年度
						☁ (横ばい) 目標達成度 👑 (達成)

基本事業02 生産体制の維持

指標	新規就農者数 (人)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【農政課】	10	18	27	19	☀ (向上)
評価	(状況) 令和3年度9人の新規就農者を確保できた。 (原因) 前年同様JA就農支援センター及び先進農家の協力など就農希望者を受入れる体制が確立されているほかに、今年度は親元就農も多くなっている。					対前年度
						☀ (向上) 目標達成度 👑 (達成)

基本事業03 農用地と営農環境の保全

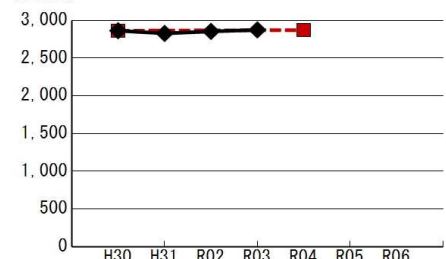


指標	遊休農地面積 (ha)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【農業委員会事務局】	15.1	14.3	15.1	18.3
評価	<p>(状況) R2の14.3haより増加となった。 (原因) 後継者不在及び営農者の疾病による入院等で増加したものである。 遊休農地は、農家の高齢化、後継者不在、生産性の低い農地で新規発生が生じており、農地利用最適化推進活動も含め、新規発生抑制・防止対策を講じる必要がある。</p>					対前年度
		(横ばい)	目標達成度			
						(中)

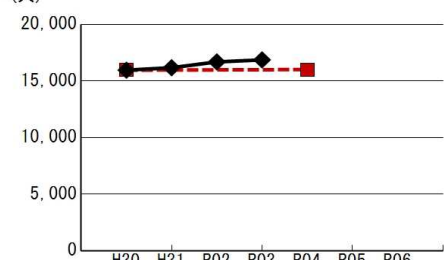


政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 02 地域に活力をもたらす産業・雇用の創出

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	市内事業所数（事業所）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	2,826	2,853	2,873	2,870
評価	(状況) 法人均等割納税義務者の法人が15社、小規模個人事業者が5事業者増えている。 (原因) コロナは落ちついていないが、コロナとの共存を見据えての事業を始める事業所が出てきているのではと考える。	(事業所) 				対前年度
		 (横ばい) 目標達成度  (高)				

指標	市内従業員数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	16,164	16,678	16,856	16,000
評価	(状況) 前年度より1.1%の増加であり、横ばい状態にある。 (原因) 事業所数が20社増加しており、従業員数もそれに伴い増加していると考え。また、南部地域の有効求人倍率はR4.3月時点で1.07まで回復している状況にある。	(人) 				対前年度
		 (横ばい) 目標達成度  (高)				

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 企業誘致・留置の推進

指標	企業誘致件数(累計) (事業所)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	2	0	1	5	☔ (低下)
評価	(状況) 企業誘致件数はR2は0件であったが、R3は1件となっている。 (原因) 帝国データバンクが行った設備投資に関する企業の意識調査によると、設備投資計画がある企業は微増となっているが、コロナ禍以前には戻っていないとある。コロナの影響、原油価格、資材の高騰が原因と考える。					対前年度 ☔ (横ばい) 目標達成度 ☐☐☐ (低)

基本事業01 企業誘致・留置の推進

指標	資本金1億円を超える事業所数 (事業所)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	134	140	140	138	☁ (横ばい)
評価	(状況) 事業所数は前年度と変わらない状況にある。 (原因) 資本金1億円を超える事業所も、コロナの影響があると考えられるが、事業所数は変わらないという結果であり、各種支援のみならず企業努力による部分も大きいのではと考える。					対前年度 ☁ (横ばい) 目標達成度 ☐☐☐ (高)

基本事業02 事業所の経営安定化と市内購買力強化

指標	黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所の割合) (%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	40	39	41.6	50	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度より向上はしているが、目標値までは達成できていない。 (原因) コロナ禍の中、収益が回復に向かっている事業所も多いと考えられるが、各種支援策によるものであるとも考えられ、いまだ状況は厳しいと考えられる。					対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 ☐☐☐ (高)

基本事業02 事業所の経営安定化と市内購買力強化

指標	日用品を市内で買っている市民の割合 (%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	82.7	83.4	80.1	83.2	☔ (低下)
評価	(状況) 市内で日用品を購入している人は多いが、そのほとんどが商店街ではなく、大型スーパーやコンビニで購入している。 (原因) 低下した要因として、コロナ禍の中、ネット購入が進んだこともあるのではと考える。					対前年度 ☔ (低下) 目標達成度 ☐☐☐ (高)

基本事業03 創業・事業開発への支援

指標	創業・新規事業進出件数（累計）（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	39	51	20	67
評価	(状況)減少が続いている (原因)コロナの影響で創業機運が低くなっている。 R2:11件 R3:9件					対前年度
		(比較不可) 目標達成度 (低)				

基本事業04 雇用の安定と確保

指標	合同会社説明会・面談会来場者数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	47	-	-	100
評価	(状況)合同会社説明会を中止した。 (原因)コロナ感染症が拡大していたため。					対前年度
		(比較不可) 目標達成度 (---)				

政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 03 観光の振興

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	観光入込客数（千人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	959	520	520	1,150
評価	(状況) 前年度と横ばいである (R3 520千人) (原因) 引き続き、コロナの影響により観光入込客数の低迷が続いている。	(千人) 				対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 魅力ある観光事業の推進

指標	市内観光イベントの来場者数（百人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	659	0	9	1,285	☔ (低下)
評価	(状況) 基準値よりも大幅な減少となった。 (原因) 新型コロナの影響により、ちっこ祭やまかない飯GPなどの大型イベントが中止となったため。 ・緋の里巡り：900人 ・ちっこ祭～恋のくに花火大会～ 中止 ・まかない飯GP 中止 R2年度はすべての大型イベントが中止					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (低)

基本事業02 ファーム本拠地と筑後船小屋駅を核とした広域連携による観光推進

指標	HAWKSベースボールパーク筑後の平均観戦者数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	2,075	968	1,192	2,200	☔ (低下)
評価	(状況) 目標値に対する達成率は、前年から少し回復した。(R2:44.0%、R3:54.18%、10.18ポイントの増加) (原因) シーズンを通じて、50%の入場制限がかけられ、また緊急事態宣言中は無観客試合の措置（全19試合）が取られたため、動員数の伸びに影響した。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (中)

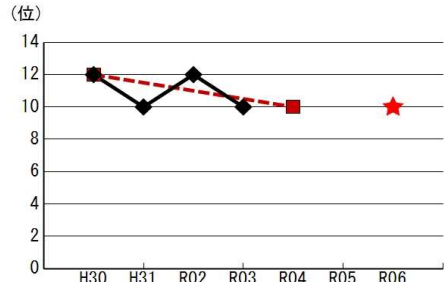


基本事業02 ファーム本拠地と筑後船小屋駅を核とした広域連携による観光推進

指標	筑後船小屋駅周辺施設の入込客数（百人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	6,103	3,641	3,761	7,205	☔ (低下)
評価	(状況) コロナ以前と比べ、駅周辺施設入込客数の低迷が続いている。 (原因) コロナの影響で宿泊者数やタマスタへの来場者が減少している。 船小屋温泉郷744 筑後広域公園2,182 九州芸文館346 HAWKSベースボールパーク筑後489 計3,761					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (中)

基本事業03 観光情報の発信

指標	観光プロモーションによるメディア露出件数（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	212	407	372	500	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度から35件低下した（407件 372件）。 (原因) 前年度に比べ、人気漫画の聖地化によるメディア露出が大幅に減少した。しかし、KBC「ふるさとWish」におけるPRを筑後市単独で行い、また西鉄バスラッピングPRなど、プロモーション事業には積極的に取り組んだ。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■ (中)

基本事業03 観光情報の発信

指標	観光意欲度の県内順位（位）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		【商工観光課】	10	12	10	10
評価	(状況) 前年から2つ順位が上がった(12位 10位) (原因) 人気漫画の聖地化による筑後市の知名度アップが大きな要因となったと思われる。	(位) 				対 前年度
		 (向上) 目 標 達 成 度  (達成)				

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 01 子育て支援の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	子育てしやすい環境が整っていると思う保護者の割合 (%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【児童・保育課】	74.9	73.5	77.5	85.0	☀ (向上)
評価	前年度より4ポイント上昇 微増微減はあるが、70%以上の割合を維持して推移しており、 子育てしやすい環境であると一定評価されていると考える。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (中)

指標	この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合 (%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【こども家庭サポートセンター】	96.2	95.1	96.1	97.0	☀ (向上)
評価	R3実績は96.1%。前年比+1ポイント、目標値-0.9ポイントで順調であると評価する。待機児童の解消、保育施設の建替え、県南広域公園など子育てに関わるサービスや環境が総合的に評価されていると考える。厚労省の母子保健計画「健やか親子21」で示された本指標のR5目標値95%を達成している。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (高)

指標	合計特殊出生率 (-)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【企画調整課】	1.62	1.60		1.80	(---)
評価	指標値の取得が10月頃の予定。					対前年度
						(---)
						目標達成度
						(---)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 子どもの人権の尊重

指標	児童虐待件数 [新規実人数] (件)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【こども家庭サポートセンター】	10	11	5	
評価	児童相談所に一時保護されたり、施設入所となった児童数は5人で前年比 - 6人となった。虐待のおそれのある情報が寄せられた際には、迅速に正確な情報を収集し、児童相談所、警察等関係機関と協議し対応した。					(比較不可)
		対前年度	(比較不可)	目標達成度	■ ■ ■ (中)	

基本事業02 ひとり親家庭等の自立支援の推進

指標	ひとり親家庭等の自立支援推進事業の利用者数 (人)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【こども家庭サポートセンター】	12	16	7	19
評価	実績は7人で前年度比 - 9人であった。新規申請者が0件で、R2年度で修了者が9名であった。制度周知、窓口での案内等は例年どおり行ったが、受講を開始し申請される方がいなかった。					(比較不可)
		対前年度	(比較不可)	目標達成度	■ ■ ■ (中)	

基本事業03 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	保育所等の待機児童数 (4月) (人)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【児童・保育課】	5	0	0	0
評価	(状況) 待機児童ゼロを維持することができた。 (原因) 入所申込数は増えたが、筑後中央幼稚園が保育部門を新設 (60名分増) したことが要因と考えられる。					(向上)
		対前年度	☀ (向上)	目標達成度	🏰 (達成)	

基本事業03 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	保育所等の待機児童数 (10月) (人)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【児童・保育課】	4	0	0	0
評価	(状況) 待機児童ゼロを維持することができた。 (原因) 入所申込数は増えたが、筑後中央幼稚園が保育部門を新設 (60名分増) したことが要因と考えられる。					(向上)
		対前年度	☀ (向上)	目標達成度	🏰 (達成)	

基本事業03 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	学童保育所の待機児童数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【児童・保育課】	46	20	0	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 待機児童を解消できた。 (原因) 令和3年度から「市内巡回型学童保育所」の事業開始等により、市内全域をフォローすることが可能になり、待機児童を解消することができた。					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏠 (達成)

基本事業03 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	一時的な保育ニーズに対応できなかった件数（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【児童・保育課】	11	0	0	0	(比較不可)
評価	(状況) 引き続き市全体として対応可能な体制を維持することができた。					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏠 (達成)

基本事業04 子育て不安の軽減

指標	子どもの発達過程を知っている保護者の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【こども家庭サポートセンター】	90.0	90.18	88.23	93.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 88.23%。前年比約 - 2ポイント、微増減はあるが、90%前後の高い割合を推移しており、順調と評価する。乳幼児健診や乳児訪問の際、個別に心配や疑問に答えたり、発達段階の特徴や接し方を伝えるといったことを行った。					対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 ■ (低)

基本事業04 子育て不安の軽減

指標	育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【こども家庭サポートセンター】	91.1	89.6	90.4	90.0	☀️ (向上)
評価	目標値を達成している。健診の問診や家庭訪問の際に、育てにくさを感じた時の対処法がわからないという保護者にはケースに応じて具体的な対処法などを伝えるといったフォローを行った。					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏠 (達成)

基本事業04 子育て不安の軽減

指標	保護者一人当たりの、子育てについて相談できる相手、または相談できる機関の数（配偶者や親族を除く）（人（機関）） 【こども家庭サポートセンター】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		1.66	1.57	1.39	1.7	☂ (低下)
評価	0.1ポイント程度の微減傾向が2年続いている。市や関係機関の相談窓口を周知してきたが、ここ2年間、コロナ感染防止のため外出自粛や対面での会話を控えるといった時期が続き、親子同士や周囲の人との交流の機会が減少した影響があると考え。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度 ■■■ (低)

基本事業05 子どもの健やかな成長の支援

指標	低出生体重児の出生率（％） 【こども家庭サポートセンター】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		9.39	8.3	8.9	10.0	☀ (向上)
評価	R2年度8.3%からR3年度8.9%と上昇した。不妊治療の増加により、多胎児、高齢出産が増加傾向にある影響が考えられる。妊婦健診の勧奨や保健指導などで予防や低体重の場合の対応等を指導している。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度 (---)

基本事業05 子どもの健やかな成長の支援

指標	乳幼児健診で要精密検査となった者の受診率（％） 【こども家庭サポートセンター】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		73.9	93.3	88.0	90.0	☁ (横ばい)
評価	令和3年度は精密検査対象者25人中、22人が受診しており、受診率は88%となった。未受診者には受診勧奨を継続している。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度 ■■■ (中)

基本事業06 家族形成の支援


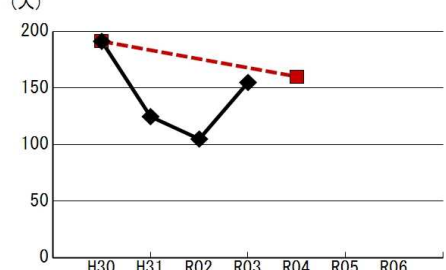


指標	若年層有配偶者率（％） 【企画調整課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		51.4	51.5	51.0	51.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度から0.5ポイント低下している。 (原因) コロナ禍で出会いの場の減少等により、全国的に婚姻数は減少傾向にある。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度 ■■■ (高)


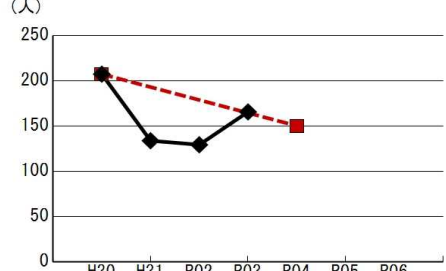


政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 02 健康づくりの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	15歳から64歳までの死亡者数（人口10万人当たり）（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【健康づくり課】	124.6	104.8	154.8	160.0	 (低下)
評価	(状況) 前年度より死亡者数は実数で14人増加。直近では比較できないが、国より低い位置で国よりも減少傾向である。(参考 国R2 168.5 R1 169.4) (国は1月~12月) (原因) 脳血管疾患が5人、心臓疾患が6人増加。全国的にコロナの影響により令和3年度は死亡者が増えている。	(人) 				対 前年度
		 (低下)	目 標 達成度	 (達成)		

指標	75歳未満の三大死因死亡者数（人口10万人当たり）（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【健康づくり課】	133.6	129.1	165.4	150.0	 (低下)
評価	(状況) 前年度より15人死亡者数が増加し、目標未達成。直近では比較できないが、国より低い水準で同じ動向である。(参考 国R2 187.9 R1 189.1) (国は1月~12月) (原因) 心臓疾患の死亡者数が増加(15人)。全国的にコロナの影響により、令和3年度は死亡者が増えている。	(人) 				対 前年度
		 (低下)	目 標 達成度	 (中)		

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生活習慣の改善

指標	1人当たりの健康づくり取り組み項目数(11項目中)(項目)	実績値(H31)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R04)	対基準値
		【健康づくり課】	4.4	4.4	4.1	5.8
評価	(状況)昨年度よりも数値が低下している。コロナ前(H31年度)と比較すると、間食を控える(8.4pt)、塩分を控える(4.6pt)、適正な体重を維持する(4.0pt)の減少が大きい。 (原因)コロナの影響による外出自粛、活動の場や啓発の場の減少が原因の一つと考える。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度 ■■■ (低)

基本事業01 生活習慣の改善

指標	糖尿病性腎症による新規透析導入者数(人口10万人当たり)(人)	実績値(H31)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R04)	対基準値
		【健康づくり課】	16.26	10.14	12.21	6.1
評価	(状況)R2の糖尿病性腎症による新規導入者5人、R3は6人であった。国(R2 12.5 R1 12.7)と比較すると、良好な値で低下。 【データ修正後の実人数】 H29:5人、H30:7人、H31:7人、R2:5人、R3:6人 (国は1月~12月) (原因)この数年横ばい。コロナの影響はみられないが、引き続き注視する。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度 ■■■ (低)

基本事業02 病気の早期発見・早期治療の推進

指標	特定健康診査受診率(%)	実績値(H31)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R04)	対基準値
		【健康づくり課】	42.0	38.7	38.3	56.0
評価	(状況)コロナ禍で健診控えがあり、特定健診受診率は昨年度を少し上回る値(R4.5月末現在0.4pt増)で推移している。(R4.10月確定) (原因)緊急事態宣言等の影響や一部訪問勧奨を控えたことで受診者が伸びなかったが、1月に集団検診を2回追加し、全国的にも同様に前年度を若干上回る見込み。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度 ■■■ (低)

基本事業02 病気の早期発見・早期治療の推進

指標	1年に1回がん検診を受けている市民の割合(%)	実績値(H31)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R04)	対基準値
		【健康づくり課】	40.3	38.9	37.5	50.0
評価	(状況)市民アンケートでは1.4p低下している。 (原因)男女別でみると、前年度に比べ男性が8.4p減、女性は2.8p増で、男性が大きく減少した。年代別では20~39歳が4.1p減、65歳~74歳で8.3p減少したので、コロナの影響が低下の理由と思われる。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度 ■■■ (中)

基本事業03 こころの健康づくりの推進

指標	自殺者数（人口10万人当たり）（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【健康づくり課】	10.1	22.2	8.1	10.0	☀ (向上)
評価	(状況) 国、県のこの数年間の平均値は16～17人であり、当市の自殺率はその約半数で推移している。 (原因) 昨年度に比べ、数は減少しているがコロナ禍における長期的な環境変化のストレスも自殺要因の一つとなりうる為、引き続き対策が必要。	(人) 				対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達成度	☀ (達成)		

基本事業04 地域医療体制の充実

指標	かかりつけ医を持っている市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【健康づくり課】	81.5	76.3	76.9	85.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度より0.6ポイント上昇したが、基準年度の値を2年連続で下回っている。 (R3年度477人中367人。R2年度557人中425人。) (原因) 原因の特定は困難であるが、受診控えにより、「かかりつけ医」を持っていると意識している市民の割合が低下したのではないかと想定している。	(％) 				対 前年度
		☁ (横ばい)	目 標 達成度	☁ (中)		

基本事業04 地域医療体制の充実

指標	筑後市立病院における救急車受入割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【健康づくり課】	98.4	95.8	95.6	97.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度に比べほぼ横ばい。月別では、4月、9月、2月、3月が年度平均値を下回っている。 (原因) コロナ患者受入れによる稼働病床の制限の影響が大きく、感染拡大した2月3月が特に大きく低下したが、年度比較するとほぼ横ばいである。	(％) 				対 前年度
		☁ (横ばい)	目 標 達成度	☁ (高)		

基本事業05 国民健康保険財政の健全運営


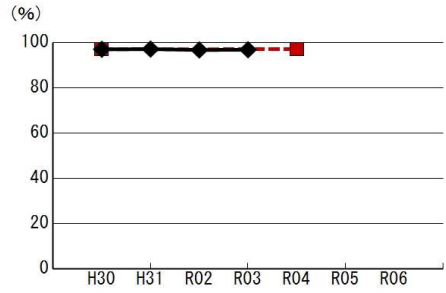


指標	国民健康保険 1人当たり医療費（円）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【市民課】	419,680	412,725	448,569		☁ (横ばい)
評価	(状況) R3(見込)は、目標設定(450,177円)上の範囲内で推移している。 (原因) 対前年度比はR2が 1.66%、R3が +8.68%と大きく変動。コロナ禍の受診控え及びその後の反動によるもので、全国的にも同傾向。外的要因の影響大で医療費適正化事業の成果を評価することは困難である。	(円) 				対 前年度
		☔ (低下)	目 標 達成度	☁ (高)		


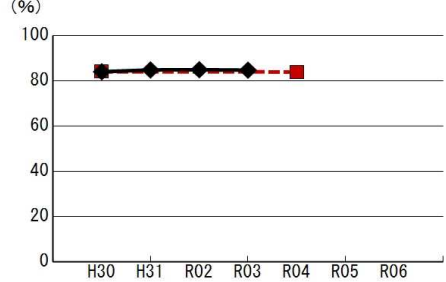


政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり


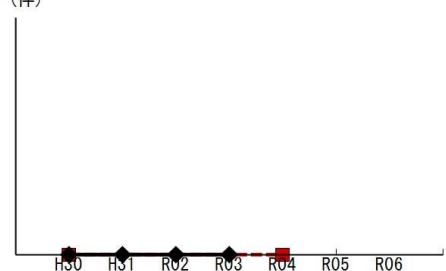


施策 03 高齢者福祉の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

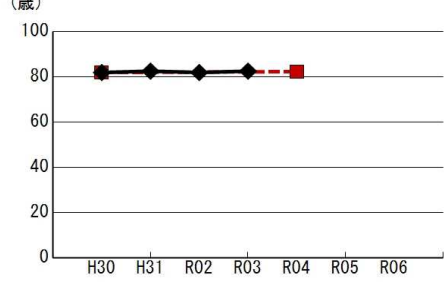


指標	要介護等認定を受けていない65～74歳の市民の割合（％） 【高齢者支援課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		97.0	96.6	96.7	97.0	 (横ばい)
評価	(状況) 昨年度より0.1ポイント向上し、基準値と比較し、0.2ポイント低くなった。目標値を0.3ポイント下回った。 (原因) 65歳から74歳のうち、比較的介護度が高い(要介護2以上)認定者数、割合が減少した。(昨年度比 10人、0.1ポイント)					対 前年度
						 (横ばい) 目 標 達成度  (低)

指標	要介護等認定を受けていない75～84歳の市民の割合（％） 【高齢者支援課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		84.7	84.8	84.6	83.8	 (横ばい)
評価	(状況) 昨年度より0.2ポイント低下、基準値と比較し、0.7ポイント高くなった。目標値を0.8ポイント上回った。 (原因) 75歳以上は認定者数、割合ともに増加している。特に比較的軽度(要支援1～要介護1)の割合が増加した。(昨年度比2.2ポイント増)					対 前年度
						 (横ばい) 目 標 達成度  (達成)

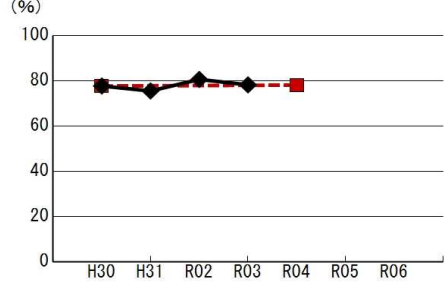


指標	適切な介護サービスが受けられなかった件数（件） 【高齢者支援課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		0	0	0	0	 (横ばい)
評価	(状況) 介護事業所に対する文書による指導はなかった。					対 前年度
						 (横ばい) 目 標 達成度  (達成)

基本事業の成果状況と評価

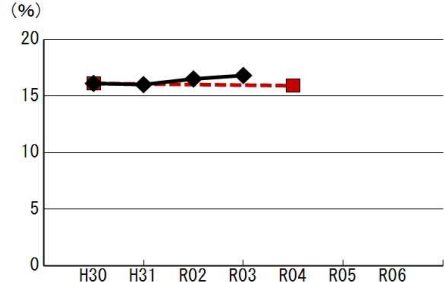


基本事業01 生きがいきくりと介護予防の推進

指標	新規認定者の平均年齢 (歳)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		【高齢者支援課】	82.4	81.8	82.4	82.2
評価	(状況) 昨年度と比較し0.6ポイント向上、基準値と比較し0.6ポイント高くなった。目標値を0.2ポイント上回った。 (原因) 新規認定者のうち75歳以上の被保険者の割合が増加した(昨年度比+2ポイント増)特に80代の割合が増えており、平均年齢が上がっている。					対 前年度
						 (横ばい)
						目 標 達 成 度
						 (達成)

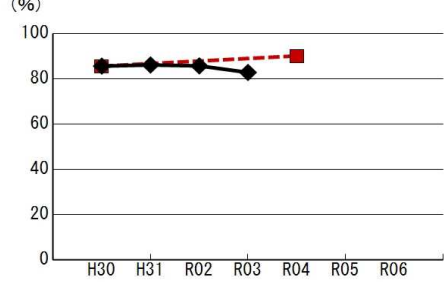


基本事業01 生きがいきくりと介護予防の推進

指標	要介護等状態区分が維持又は改善した者の割合(%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		【高齢者支援課】	75.4	80.5	78.1	78.0
評価	(状況) 前年度と比較し2.4ポイント低下、基準値より0.5ポイント高く、目標値を0.1ポイント上回った。 (原因) 改善の割合は年々減少、維持の割合は昨年度より減少したが、長期的には増加傾向にある。新型コロナウイルス感染症に伴う有効期間の延長などもあり、維持の割合が増えている。					対 前年度
						 (低下)
						目 標 達 成 度
						 (達成)

基本事業01 生きがいきくりと介護予防の推進

指標	65歳以上の要介護等認定者の割合(%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		【高齢者支援課】	16.0	16.5	16.8	15.9
評価	(状況) 昨年度と比較し0.3ポイント増、基準値より0.7ポイント高くなり、目標値との差が0.9ポイントとなった。 (原因) 75歳以上の認定率が増えている。特に比較的軽度者(要支援1~要介護1)の認定者が増加している。(前年度比+2.2ポイント)					対 前年度
						 (低下)
						目 標 達 成 度
						 (低)

基本事業02 高齢者の相談体制の充実と権利擁護

指標	相談先がある高齢者の割合(%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		【地域包括支援センター】	86.0	85.6	82.7	90.0
評価	(状況) 前年度から2.7ポイント、基準値からは2.8ポイント低下している。 (原因) 相談先としては家族が最も多く、友人、知人、相談窓口が挙げられている。コロナの影響により地域や友人との交流が制限させたことも一因と考えられる。					対 前年度
						 (低下)
						目 標 達 成 度
						 (低)

基本事業02 高齢者の相談体制の充実と権利擁護

指標	高齢者の権利が損なわれた件数（虐待・権利）（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【地域包括支援センター】	6	11	11		
評価	（状況）虐待認定件数は前年度と同数となっている。また相談件数に占める虐待認定の割合は、平成30年度45.5%、令和3年度45.8%と横ばいである。 （原因）子からの虐待36.0%、配偶者からの虐待32.0%虐待の累計は身体的虐待、心理的虐待、ネグレクト・経済的虐待の順で多い。					対 前年度
		(比較不可) (比較不可) 目 標 達成度 (---)				

基本事業03 日常生活支援サービスの推進

指標	日常生活支援サービスの登録者数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【高齢者支援課】	418	373	351	385	
評価	（状況）サービス登録者が前年度比22人減少。 （原因）生活支援ホームヘルプサービス、シルバーお助けサービス以外は登録が減少。外出支援及び緊急通報は減少傾向が続いており、民間サービスの普及が考えられる。ショートステイや生きがいサービスはコロナ禍となり減少。サービス事業所の感染防止対策が登録減少につながった。					対 前年度
		(横ばい) (低下) 目 標 達成度 (低)				

基本事業03 日常生活支援サービスの推進

指標	日常生活支援サービスを行うボランティア・NPO等団体数（団体）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【高齢者支援課】	6	8	9	8	
評価	（状況）行政区内で助け合い活動を行う有償ボランティアの会が1カ所できた。 （原因）地域で困っている人（事）、支援できる人（事）をアンケートで明らかにすることで、地域の助け合いの機運を高めることとなり、活動につながった。					対 前年度
		(向上) (向上) 目 標 達成度 (達成)				

基本事業04 介護保険サービスの推進

指標	要介護等認定者のうち、在宅サービスを利用している者の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【高齢者支援課】	60.9	62.7	61.4	65.6	
評価	（状況）前年度と比較して1.3ポイント減少した。 （原因）要介護等認定者は前年より56人増、在宅サービス利用者は3人増、施設サービス利用者は10人減となっている。認定者増の多くは要支援認定であるため、総合事業を利用していると思われる。					対 前年度
		(低下) (低下) 目 標 達成度 (低)				

基本事業04 介護保険サービスの推進

指標	地域密着型事業所の利用定員数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【高齢者支援課】	208	217	217	240	☀ (向上)
評価	(状況)新規開設事業所無 (原因)第8期介護保険事業計画に基づき、小規模多機能居宅介護・看護小規模多機能居宅介護事業所を1事業所つつ公募するも応募する事業所が無かった。要因として、介護職員等の人材確保、採算性確保の難しさが考えられる。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■■■ (高)

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運用

指標	介護保険1人当たりの給付額(月額)（円）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【高齢者支援課】	20,131	20,186	20,540		☁ (横ばい)
評価	(状況・原因)毎月のケアプランチェックや縦覧点検等を通してサービス利用の適正化を図るも、給付額の伸びは抑えきれず、全体で前年より約8千万円増。居宅・地域密着型サービスが一般的に増加し、施設サービスは微増。元々給付額が多い通所介護の伸び(+5%)が給付額の大幅な伸びに影響している。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■■■ (低)

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運用


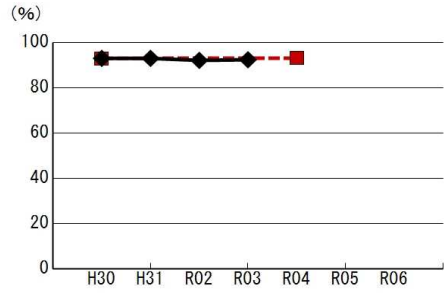


指標	後期高齢者1人当たり医療費(年額)（円）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【市民課】	1,183,091	1,215,857	1,182,337		☀ (向上)
評価	当該年度の実績値の取得時期は10月末です (状況)R2年度実績値は対前年度比 2.76ポイント減少(県内順位は9位)。福岡県全体の一人当たり医療給付費も3.94%減少している。 (原因)新型コロナウイルス感染症による受診控え等の影響で下がった。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■■■ (中)


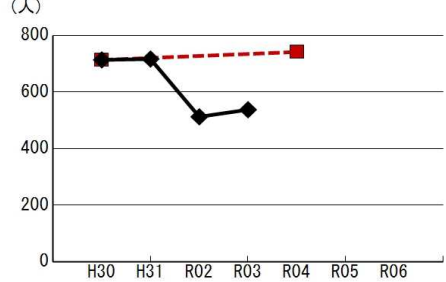


政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 04 障害者（児）福祉の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	在宅生活をしている65歳未満の障害者の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【福祉課】	92.9	92.0	92.3	93.0	 (横ばい)
評価	令和3年度末の施設入所者数は86名であり、平成30年末の78名から微増を続けている。令和3年度の退所の主な理由は死亡、入院、GHや一般住宅への転居である。また、新規入所の理由としては、親の入院、親との確執、本人の心身の状況の変化に伴うグループホームから入所へサービス変更などである。					対前年度
						 (横ばい)
						目標達成度
						 (中)

指標	移動を伴う障害福祉サービス延べ利用者数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【福祉課】	716	512	537	741	 (低下)
評価	移動に関するサービスについては、新型コロナの影響により外出を控える傾向が続き、利用件数は、令和2年とほぼ同様の利用件数となった。支給決定者数はそれほど減っていないため、1人当たりの利用回数が減ったものとみられる。					対前年度
						 (横ばい)
						目標達成度
						 (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 自立支援の促進

指標	介護給付（在宅サービス）・訓練等給付・障害児通所支援の自立支援給付利用件数（延べ数）（件） 【福祉課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		10,697	10,290	11,672	10,096	☀️ (向上)
評価	新型コロナの影響が続き短期入所の利用は減少したが、生活支援や就労系（就労移行、A型、B型）については、事業所による感染対策が進み、サービス全体の件数としては増加に転じた。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 🏠 (達成)

基本事業02 地域生活支援の促進

指標	地域生活支援事業の延べ利用件数（件） 【福祉課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		14,735	14,869	14,679	16,600	☔️ (低下)
評価	令和3年度も新型コロナ感染予防のためにサービス利用の控える傾向が続いている。特に移動系のサービスについては利用控えがあり減少傾向のまま推移している。					対前年度 ☁️ (横ばい)
						目標達成度 ■ ■ ■ (低)

基本事業03 障害者（児）の人権擁護

指標	障害者（児）の権利が損なわれた件数（虐待・権利）（件） 【福祉課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		0	2	0	0	☁️ (横ばい)
評価	（状況）関係機関連携のもとで権利を損なわれたと把握した例は近年0～2件で推移している。 （原因）自立支援協議会権利擁護ワーキングチームで取組んでいる虐待防止研修等の成果もあると思われるが、全国的には施設職員による虐待案件は後を絶たないため、引き続き課題とする。					対前年度 ☁️ (横ばい)
						目標達成度 ■ ■ ■ (中)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 05 セーフティネットの推進

あるべき姿

生活困窮者の自立

施策の成果状況と評価

指標	自立した世帯数（世帯）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	12	16	7	27
評価	(状況) 前年度から9件減少した。実績としては低下傾向にある。 (原因) 自立を進めることで、自立困難な世帯だけが残っている状況にある。 ただ一方で、就労支援を利用した5世帯中、自立した世帯は0件。現実と乖離した好条件求人への就職活動も見られた。	(世帯) 				対前年度
						☂ (低下)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生活困窮者の自立支援と適正な生活保護

指標	自立支援プランで改善が見られた者の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【福祉課】	75.0	48.7	53.1	85.0	(横ばい)
評価	(状況) 前年度から4.4ptの増加であり、コロナによる影響も終息傾向にある。ただ、以前として低い状況に変わりはない。 (原因) 求人先の選り好みや、困窮支援（経済支援を受けるため形式的に就職活動を行うなどがあり、改善を抑制したものと推測される。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(中)

基本事業01 生活困窮者の自立支援と適正な生活保護

指標	生活保護で生活が守られている世帯数（世帯）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【福祉課】	191	185	199		(比較不可)
評価	(状況) 前年度から14世帯増加した。生活保護受給世帯数は月では最大値209世帯、最小値190世帯である。 (原因) 高齢者世帯・障害者世帯の増加が見られ、親族等の援助が困難となり、保護申請に至ったものと思われる。					対前年度
						(比較不可)
						目標達成度
						(---)

基本事業02 市営住宅による住宅の確保

指標	市営住宅入居率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【都市対策課】	94.7	92.4	91.6	94.0	(低下)
評価	(状況) 入居率が減少した。 (原因) 応募者が新しい団地へ集中し、建設年度が古い団地への応募が減少した。また、玄ヶ野団地4・5階の応募が依然として少なく空屋が増加したため。					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(低)

基本事業02 市営住宅による住宅の確保

指標	市営住宅管理戸数（戸）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【都市対策課】	489	489	489	489	(横ばい)
評価	(状況) 住宅管理戸数に変更は無いが、既に目標値には達している。 (原因) 建替え工事等の実施が無いため、実績値に変更はない。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(達成)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 06 地域福祉の推進

あるべき姿

地域福祉の連携

施策の成果状況と評価

指標	地域での福祉活動で支え合っていると思う市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【福祉課】	38.0	43.1	29.1	50.0
評価	(現状) 前年度から14ptの減少。減少傾向にあり、直近で一番低かったH28に近い数値となった。 (原因) 社会福祉協議会や各行政区等による地域福祉活動がコロナの影響により中止や縮小となった結果、市民の実感として減退したと思われる。					対前年度
						☂ (低下)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 支え合いの意識と人づくり

指標	近隣とのコミュニケーション、交友関係が構築されていると思う市民割合 (%) 【福祉課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		43.1	47.6	43.1	60.0	(低下)
評価	(状況) 前年度から4.5ptの減少。基準値に対し、いまだ低い傾向にある。 (原因) コロナの影響もあり、地域での集まりの減少や外出の抑制により家の中での生活が増えたことで、市民の実感としてはやや減退してしまったものと考えられる。					対前年度
		(横ばい)	目標達成度	(中)		

基本事業01 支え合いの意識と人づくり

指標	福祉ボランティア団体、NPO法人の構成員数 (人) 【福祉課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		718	718	727	750	(横ばい)
評価	(状況) 前年度から9人の増加だが、横ばいの傾向にある。 (原因) 広報での周知もあり、福祉に係る団体が1団体増加したことで、構成員数も増えたが、新たに福祉ボランティアに参加する人材の発掘に苦慮しており、全体としては微増に止まったものと思われる。					対前年度
		(横ばい)	目標達成度	(高)		

基本事業01 支え合いの意識と人づくり

指標	地域福祉活動に参加している市民の割合 (%) 【福祉課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		7.0	6.6	5.9	10.0	(低下)
評価	(状況) 前年度比0.7pt減。市民アンケート回答層は、20歳未満が極めて少なく、40～64歳が比較的多い。居住年数では10～20年以上が顕著で回答者の83.2%を占める。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、社会福祉協議会が実施する地域福祉事業の縮小、中止が影響しているのでは、と判断される。					対前年度
		(低下)	目標達成度	(中)		

基本事業02 支え合いの仕組みづくり

指標	民生委員・児童委員の年間相談件数 (件) 【福祉課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		3,405	3,199	3,531	3,590	(低下)
評価	(状況) 前年度から332件増加。 (原因) 前年度と比較して、コロナ感染対策の体制が確立してきたこともあり、民生委員による訪問件数が改善し、相談件数もそれに伴って増加したのではないかと考えられる。					対前年度
		(横ばい)	目標達成度	(高)		

基本事業02 支え合いの仕組みづくり

指標	社会福祉協議会で実施した事業への参加者数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		【福祉課】	4,274	2,371	3,427	4,227
評価	(状況) 前年度から332件の増加。 (原因) コロナ感染拡大防止のため、社会福祉協議会も事業の中止や縮小などで参加者が令和3年度も減少したが、それ以上に困窮者の福祉事業(フードパントリーなど)の利用者数が増加(R2: 862人 R3: 2,049人)しており、全体的には増加となっている。	(人) 				☀ (向上)
						■ 目 標 達 成 度 (高)

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 01 学校教育の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価


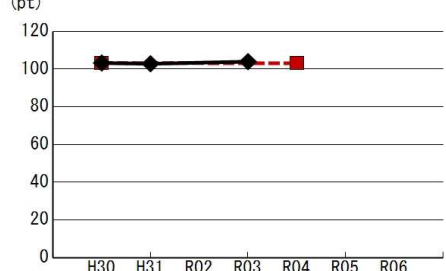

指標	将来の夢や目標を持っている小学6年生の割合(%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	81.3	78.4	85.9	83.0	☀️ (向上)
評価	(状況)全国学力・学習状況調査の結果から令和2年度(市独自で調査)と比べて7.5ポイント向上している。 (原因)キャリア・パスポートの活用が進んでいることや、スポコン広場やちくごみんなでチャレンジでの取組において目標をもって活動し達成感を味わうことができている可能性がある。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 🏠 (達成)

指標	将来の夢や目標を持っている中学3年生の割合(%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	65.6	70.8	65.2	72.0	☔️ (低下)
評価	(状況)全国学力・学習状況調査の結果から令和2年度(市独自で調査)と比べて5.6ポイント低下している。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、体育祭等の様々な学校行事が中止・縮小され、目標をもって達成感を味わう機会が少なかった可能性がある。					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 🏠 (中)


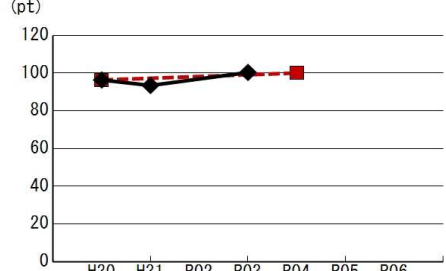

指標	学校教育(小・中学校)に満足している保護者の割合(%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	75.4	71.4	70.7	80.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況)市民アンケートの結果から令和2年度と比べて0.7ポイント低下しているが、ほぼ横ばい状態で推移している。 (原因)新型コロナウイルス感染症の関係で、保護者が学校に足を運び、直接、学校現場を見る機会が減ったことが影響している可能性がある。					対前年度 ☁️ (横ばい)
						目標達成度 🏠 (中)

基本事業の成果状況と評価

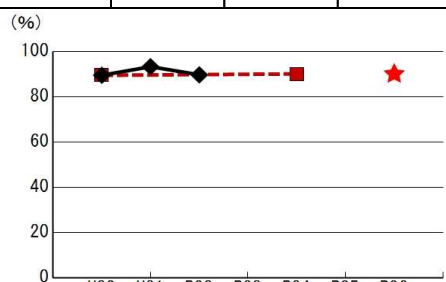
基本事業01 確かな学力の向上

指標	小学6年生の国語、算数（全国学力・学習状況調査）の平均点の指数（pt）	実績値（H31）	実績値（R02）	実績値（R03）	目標値（R04）	対基準値
	【学校教育課】	102.8	-	103.9	103.0	
評価	<p>（状況）前回調査の令和元年度と比べて1.1ポイント向上しているが、ほぼ横ばい状態で推移している。</p>					対前年度
		<p>（横ばい）</p> <p>対前年度</p> <p>（横ばい）</p> <p>目標達成度</p> <p>（達成）</p>				


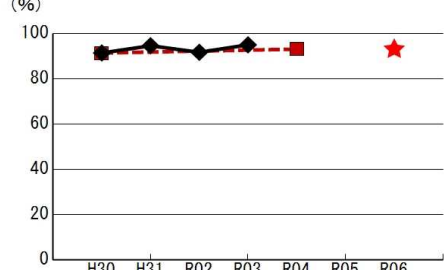

基本事業01 確かな学力の向上

指標	中学3年生の国語、数学（全国学力・学習状況調査）の平均点の指数（pt）	実績値（H31）	実績値（R02）	実績値（R03）	目標値（R04）	対基準値
	【学校教育課】	93.4	-	100.3	100.0	
評価	<p>（状況）前回調査の令和元年度と比べて6.9ポイント向上している。</p> <p>（原因）複数の教師で授業を行うチーム・ティーチングや少人数学習、個別指導等きめ細かな指導体制の充実や中学校における授業改善、学力向上の取組が少しずつ前進している可能性がある。</p>					対前年度
		<p>（向上）</p> <p>目標達成度</p> <p>（達成）</p>				

基本事業02 豊かな心の育成

指標	学校の決まりを守っている小学6年生の割合（%）	実績値（H31）	実績値（R02）	実績値（R03）	目標値（R04）	対基準値
	【学校教育課】	93.2	89.6	-	90.0	
評価	<p>「全国学力・学習状況調査」の調査項目から外れたため、実績値の取得が不可能である。</p>					対前年度
		<p>（比較不可）</p> <p>対前年度</p> <p>（比較不可）</p> <p>目標達成度</p> <p>（---）</p>				

基本事業02 豊かな心の育成

指標	毎日朝食を食べている小学校6年生の割合（%）	実績値（H31）	実績値（R02）	実績値（R03）	目標値（R04）	対基準値
	【学校教育課】	94.5	91.6	94.9	93.0	
評価	<p>（状況）全国学力・学習状況調査における児童質問紙調査の結果から令和2年度（市独自で調査）と比べて3.3ポイント向上している。</p> <p>（原因）PTAの「早寝・早起き・朝ごはん」の取組や各学校での規則正しい生活を送るような指導が充実・浸透している可能性がある。</p>					対前年度
		<p>（向上）</p> <p>対前年度</p> <p>（向上）</p> <p>目標達成度</p> <p>（達成）</p>				

基本事業02 豊かな心の育成

指標	学校の規則を守っている中学3年生の割合(%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	92.6	97.5	不明	93.0	
評価	「全国学力・学習状況調査」の調査項目から外れたため、実績は不明である。					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業02 豊かな心の育成

指標	毎日朝食を食べている中学3年生の割合(%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	89.3	89.6	92.1	92.0	☀
評価	(状況)全国学力・学習状況調査における児童質問紙調査の結果から令和2年度(市独自で調査)と比べて2.5ポイント向上している。 (原因)PTAの「早寝・早起き・朝ごはん」の取組や各学校での規則正しい生活を送るような指導が充実している可能性がある。					対 前年度
						(向上)
						目 標 達 成 度
						☀ (向上)
						🏠 (達成)

基本事業03 健やかな体の育成

指標	小学5年生の体力・運動能力調査の平均点の指数(pt)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	97.8	-	98.2	103.0	☁
評価	(状況)全国体力・運動能力調査の結果から前回調査の令和元年度と比べて0.4ポイント向上しているが、ほぼ横ばいである。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達 成 度
						☁ (横ばい)
						■ (中)

基本事業03 健やかな体の育成

指標	中学2年生の体力・運動能力調査の平均点の指数(pt)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	101.2	-	101.5	102.0	☁
評価	(状況)全国体力・運動能力調査の結果から前回調査の令和元年度と比べて0.3ポイント向上しているが、ほぼ横ばいである。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達 成 度
						☁ (横ばい)
						■ (高)

基本事業04 小中連携・地域連携の推進

指標	コミュニティ・スクール設置学校数(校)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	4	6	8	11	☀ (向上)
評価	令和3年度は、予定どおり古島小と二川小の2校に設立することができた。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■■■ (高)

基本事業04 小中連携・地域連携の推進

指標	1,000人当たり不登校生徒の出現率(全国平均100とした場合)(過去3年平均)(pt)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	78.6	93.0	不明	70.0	(比較不可)
評価	毎年不登校生徒の出現率は10~11月に公表されるので、現時点で実績は不明。					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業05 教育環境の充実

指標	学校維持管理及びセキュリティ管理における教育支障件数(件)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	4	7	18	15	☂ (低下)
評価	施設設備の老朽化により下記の事例が発生した。 ・給排水管漏水(6件) ・雨漏り(2件) ・漏電(1件) ・空調機故障(2件) ・その他施設設備等不具合(6件) セキュリティ管理における教育支障件数(1件)					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						■■■ (低)

基本事業05 教育環境の充実

指標	学校トイレの洋式化率(%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	30.98	61.67	61.67	70.0	☁ (横ばい)
評価	改修未実施校(二川小・西牟田小)について、国の補正予算を活用して3月補正予算にて予算化した。(明許繰越事業として令和4年度に事業実施)					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■■■ (高)

基本事業05 教育環境の充実

指標	小学校再編計画決定後の児童数100名未満の小学校数（校）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【学校教育課】	0	0	0	0
評価	学校再編計画における水田・下妻・古島小の再編と古川・水洗小の再編により、100人未満の小規模校は解消される。					対前年度
						(横ばい)
						(高)

基本事業05 教育環境の充実

指標	電子黒板等設置割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【学校教育課】	32.5	83.01	100	50.0
評価	昨年度に生じた学校間格差を解消し、全普通教室に大型提示装置の配置を行った。					対前年度
						(向上)
						(達成)

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 02 生涯学習・スポーツの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習活動を行っている市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【社会教育課】	35.8	37.0	64.9	50.0	☀ (向上)
評価	(状況) 目標値を上回っている。 (原因) アンケートの表現を見直した結果、状況を的確に捕捉した結果が得られ、向上したと思われる。					対 前年度
						☀ (向上)

指標	学習効果を家庭・地域に活かしている市民割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【社会教育課】	32.7	31.3	33.8	28.0	☀ (向上)
評価	(状況) 目標値（28.0％）を上回った。 (原因) 前問の質問内容を見直したため、分母となる継続的に活動を行っている割合は増えたものの、家庭や地域に成果を活用している割合は微増にとどまり大きな変化はなかったものと推測される。					対 前年度
						☀ (向上)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生涯学習の推進

指標	生涯学習の機会が十分にあると思う市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	11.6	15.1	11.4	17.0	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度から大きく低下している。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの事業を中止し、また、多くの施設を休館したこと等が影響しているのではないかとと思われる。アンケートのクロス集計の結果では、40歳～64歳でやや不満・不満の割合が多くなっている。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■ (中)

基本事業01 生涯学習の推進

指標	社会教育施設の年間利用者数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	193,909	88,096	110,842	240,000	☔ (低下)
評価	(状況) サザンクス筑後 32,899人 中央公民館(サンコア) 52,356人 北部交流センター(チクロス) 25,587人 (原因) コロナによる閉館はあったが、サンコアは、選挙の期日前投票所として長期間使用したため利用者数が伸びた。チクロスは閉館の影響で減少した。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (低)

基本事業01 生涯学習の推進

指標	図書館を利用している市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	26.7	26.6	26.6	30.0	☔ (低下)
評価	(状況) 令和4年3月31日現在 人口 49,150人 市民登録者 13,097人 (原因) 令和2年・3年と新型コロナウイルス感染の影響もあり、来館者数も減っており、登録している市民の割合も横ばい状況だった。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						■ (高)

基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	週に1回以上、運動・スポーツをしている市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	49.8	54.9	52.0	50.0	☀ (向上)
評価	(状況) 新型コロナウイルス感染症拡大による大会やイベントの中止や、施設閉鎖等の状況にも関わらず、目標値は達成できている。 (原因) 引き続きの長期自粛生活による健康被害への関心の高まりや個人での軽スポーツの実施が増えたのではないかと推測される。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	競技会場に行ってスポーツを見る市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	25.8	17.5	19.2	40.0	☔ (低下)
評価	(状況) 新型コロナウイルス感染症拡大によるスポーツ大会やイベントの中止 (原因) 引き続き新型コロナウイルス感染症拡大によりスポーツ施設が閉鎖され、多数の大会が中止及び人数制限となったため					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						■ (低)

基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	1年間にスポーツボランティア活動をした市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	5.3	6.1	6.4	8.0	☔ (低下)
評価	(状況) 新型コロナウイルス感染症拡大によるスポーツ大会やイベントの中止 (原因) 引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大によりスポーツ施設が閉鎖され、多数の大会中止や活動自体が制限されたため					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						■ (高)

基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	福岡ソフトバンクホークス連携によるスポーツ関連事業参加者数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【商工観光課】	787	20	517	1,000	☔ (低下)
評価	(状況) 指標地取得に関係する事業の一部が行えなかったが、前年度よりは改善した。 (原因) コロナ感染拡大防止の観点から事業を縮小したため。 (中止) ・ジュニアスポーツチャレンジ (実施) ・キャッチボールキャラバン 255名 ・イロホーク 212名 ・ファーム野球教室 50名 ・スポーツ指導者講習会 20名 計 517名					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (高)

基本事業03 文化財の保護と活用

指標	指定文化財のき損・滅失・亡失・盗難件数（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【社会教育課】	2	2	2	0	☁ (横ばい)
評価	(状況・原因) ・水田天満宮本殿の庇部懸魚の剥落 1件 (R3.8.16の豪雨災害) ・欠塚古墳階段部片岩の剥落 1件 (R3.8.16の豪雨災害)					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						■ (低)

基本事業03 文化財の保護と活用

指標	文化財施設・文化財事業の入場・参加者数(人)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【社会教育課】	8,413	1,458	2,625	8,600	☂ (低下)
評価	(状況・原因) 新型コロナウイルス感染症拡大防止・予防対策による事業中止等の影響で入場者数・参加者数が目標値を大きく下回った。しかし、昨年度よりは若干回復した。					対 前年度
						☀ (向上)
						目標 達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業04 青少年教育・体験活動の推進

指標	青少年体験活動に満足している参加者の割合(%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【社会教育課】	95.3	なし	92.8	90.0	☀ (向上)
評価	(状況)コロナ禍のため、トレーニングキャンプ及びサマーキャンプは中止し、ウインターキャンプはデイキャンプとした。					対 前年度
						(比較不可)
						目標 達成度
						🏰 (達成)

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 03 男女共同参画社会の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	男女が平等だと思う市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【男女共同参画推進室】	53.3	56.9	54.6	58.0
評価	(状況) 昨年との比較 学校79.3% 76.9% 職場47.0% 45.3% 家庭51.6% 49.9% 地域49.6% 46.4%					対前年度
	(原因) 学校での平等観は高いものの、職場、家庭、地域の低さは、アソシエーションの影響ではないかと考えられる。					目標達成度
						☂ (低下)
						■ ■ ■ (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 男女共同参画社会実現に向けた市民や市内企業への啓発

指標	「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割分担意識に反対する市民の割合（過去3年平均）（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【男女共同参画推進室】	46.3	46.8	48.4	50.0
評価	(状況) 向上 (原因) 高度成長期頃から、社会的構造の変化により、夫だけが働き家族の経済的責任を負ってきた背景があった。しかし、コロナ禍による不景気と重なり、夫婦共々働かなければならない状況になってきていることも要因ではないかと考えられる。					☀️ (向上)
		<p>(%)</p> <p>60</p> <p>40</p> <p>20</p> <p>0</p> <p>H30 H31 R02 R03 R04 R05 R06</p>				☀️ (向上) 目 標 達成度 ■■ (中)

基本事業02 まちづくりにおける女性参画の推進

指標	審議会・委員会の女性登用率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【男女共同参画推進室】	32.3	33.4	32.8	35.0
評価	(状況) 低下 (原因) 女性が極端に減ったりした審議会等はなかったものの、相対的に女性委員が減っている。団体推薦枠に女性が上がって来ないのは、組織に女性が少ないのも要因。また、あて職の場合、各団体長に女性が少ないのも1つの要因。					☀️ (向上)
		<p>(%)</p> <p>40</p> <p>30</p> <p>20</p> <p>10</p> <p>0</p> <p>H30 H31 R02 R03 R04 R05 R06</p>				☀️ (向上) 目 標 達成度 ■■ (中)

基本事業02 まちづくりにおける女性参画の推進

指標	区長・公民館長の女性登用率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【男女共同参画推進室】	5.3	5.3	6.7	6.3
評価	(状況) 向上 女性区長 (R2) 2人 (R3) 3人 女性公民館長 (R2) 6人 (R3) 7人 (原因) 原因はわからない。少しずつではあるが増えており、地域役員のなり手不足も一因になったのかもしれない。					☀️ (向上)
		<p>(%)</p> <p>8</p> <p>6</p> <p>4</p> <p>2</p> <p>0</p> <p>H30 H31 R02 R03 R04 R05 R06</p>				☀️ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)

基本事業03 男女に関する人権保護と相談体制の充実

指標	男女の人権に関する通知・連携件数（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【男女共同参画推進室】	3	3	2	
評価	(状況) DVによる県との連携は1件減った。 (原因) 直接の原因はわからない。最近、夫婦喧嘩が、子への面前DVで児童虐待として扱われることもある。高齢者からの相談もあるが、家を出る決心にまでは至らない方も多い。					(比較不可)
		<p>(件)</p> <p>3</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>0</p> <p>H30 H31 R02 R03 R04 R05 R06</p>				(比較不可) 目 標 達成度 (---)

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 04 人権尊重と同和教育の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	最近1年間に人権を傷つけられたことがある市民の割合(%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【人権・同和教育課】	26.7	24.2	23.8	22.0
評価	(状況) 前年度比 0.4ポイントの減少 (原因) セミナーや講演会の開催、人権啓発リーフレットの隣組回覧、広報啓発「シリーズいま人権・同和教育は」を通じて人権啓発を継続的に実施していることに因る。					対前年度
						目標達成度 ■■■ (中)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 市民や市内企業への人権教育・啓発

指標	人権啓発事業・講座への初めての参加者の割合（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【人権・同和教育課】	19.9	25.3	26.0	30.0
評価	(状況) 7月講演会(31.2%), 12月つどい(21.3%), セミナー(21%) 合計209/803人(26%)。集客型とオンライン型講演会を併用し、昨年度比+0.7% (目標値比 4%) (原因) 人権について、誰もが興味を持つ企画や周知が必要だが、人権について考えてもらう動機づけとしては不十分であった。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度 ■ ■ ■ (中)

基本事業02 児童・生徒への人権教育・啓発

指標	「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」に対し「当てはまらない」と回答した中学3年生の割合（%）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【人権・同和教育課】	1.5	1.3	1.0	1.5
評価	(状況) 前年度比 0.3ポイント (原因) 各学校において継続的に人権・同和教育を中心とした指導をしっかりとされている効果が大きいと思われる。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度 🏠 (達成)

政策 06 安心して安全に暮らせるまちづくり

施策 01 防災・減災対策の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	被災世帯・事業所数（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	83	6	4	0	☔ (低下)
評価	令和3年8月大雨にて床下浸水4件発生					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ ■ ■ (中)

指標	災害による負傷者数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 令和3年度大きな被害は発生しなかった。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

指標	災害による死亡者数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 令和3年度大きな被害は発生しなかった。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 防災・災害情報機能の充実

指標	防災・災害情報の提供手段数（手段）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	9	10	11	12	☀️ (向上)
評価	(状況) 福岡県公式ラインを加えて11手段となった。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						■■■ (高)

基本事業01 防災・災害情報機能の充実

指標	防災・災害情報の維持管理上のトラブル件数（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	0	2	1	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和3年度は子局1か所で故障が発生					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						■■■ (高)

基本事業02 地域防災力の向上

指標	家庭での災害時の備えの取り組み項目数（13項目中）（項目）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	3.7	3.8	3.7	6.5	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度から微減（0.1ポイント）となった。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度
						■■ (低)

基本事業02 地域防災力の向上

指標	地域での防災訓練及び講習会参加者数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	1,351	415	788	1,600	☔️ (低下)
評価	(状況) R2年度と比較すると参加者数は増加した。 (原因) 新型コロナウイルスの影響で、校区防災訓練や防災講話が中止となったことによる。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						■■ (低)

基本事業02 地域防災力の向上

指標	災害時個別支援計画が策定されている要援護者の割合（％） 【防災安全課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		4.49	6.80	9.02	9.8	☀ (向上)
評価	(状況) 作成率は基準値からは向上したが、目標値には届かなかった。 (原因) R3年度意向調査を実施し、約200名が自力避難可や施設入所により計画作成不要者との結果だったが、高齢化などの理由により計画作成対象者が増加したため、計画作成率は思ったより伸びなかった。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

基本事業03 災害時の支援体制の充実

指標	災害時の支援体制の県基準未達項目数（2項目中）（項目） 【防災安全課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 県基準未達項目はなし					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業03 災害時の支援体制の充実

指標	災害時に職員として果たすべき役割や初動を理解している職員の割合（％） 【防災安全課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		86.0	95.7	93.1	100.0	☀ (向上)
評価	(状況) ほぼ横這いであった。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

政策 06 安心で安全に暮らせるまちづくり

施策 02 安全な暮らしの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	市内の刑法犯認知件数（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【防災安全課】	300	219	188	250	☀ (向上)
評価	(状況) 前年から31件減少した。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

指標	交通事故発生件数（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【防災安全課】	268	234	223	250	☀ (向上)
評価	(状況) 前年から11件減少した。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

指標	交通事故死傷病者数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【防災安全課】	350	318	296	330	☀ (向上)
評価	(状況) 前年から22件減少した。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 防犯対策の推進

指標	家庭での防犯対策取り組み項目数（10項目中）（項目）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	1.5	1.34	1.31	2.5	(横ばい)
評価	(状況) 前年度からほぼ横ばいであった。					対前年度
						目標達成度

基本事業01 防犯対策の推進

指標	地域での防犯対策実践延べ数（11校区×4項目中）（項目）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	29	29	29	32	(横ばい)
評価	(状況) 前年度から増減なし					対前年度
						目標達成度

基本事業01 防犯対策の推進

指標	行政による防犯機能改善のための取り組み数（項目）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	3	3	1	3	(横ばい)
評価	(状況) ・安全で安心できる推進協議会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催できなかった。 ・暴力団追放総決起大会は、隔年での開催が決定し、令和3年度は実施されなかった。（次回は令和4年度の実施予定）					対前年度
						目標達成度

基本事業02 交通安全活動の推進

指標	交通事故発生件数（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【防災安全課】	268	234	223	250	(向上)
評価	(状況) 前年から11件減少した。					対前年度
						目標達成度

基本事業02 交通安全活動の推進

指標	高齢者1,000人当たりの交通事故死傷者数(人)	実績値(H31)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R04)	対基準値
	【防災安全課】	7.0	5.03	4.18	6.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年から0.85ポイント減少した。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

基本事業03 消費生活の安定

指標	消費者相談の解決率(過去3年平均)(%)	実績値(H31)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R04)	対基準値
	【福祉課】	88.7	93.4	94.3	91.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 単年度の数値は95.0で、前年度より2.3ポイント上昇し、過去3年の平均で算出する実績値も前年度より0.9ポイント上昇した。 (原因) 相談員の経験年数も長くなり、豊富な知識により様々な相談に対応できている。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

基本事業03 消費生活の安定

指標	クーリングオフを知っている市民の割合(%)	実績値(H31)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R04)	対基準値
	【福祉課】	76.6	74.9	73.3	82.0	☔️ (低下)
評価	(状況) 前年度より1.6pt低下。65歳以上の層が前年度より低下している。 (原因) 消費関係のトラブルの中心が、クーリングオフの対象外であるインターネットなどでの通信販売に移ってきているのが要因ではないかと思われる。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度 🏰 (低)

基本事業03 消費生活の安定

指標	特殊詐欺被害件数(件)	実績値(H31)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R04)	対基準値
	【防災安全課】	3	2	5	0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 前年度から3件増加した。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大影響で、接触が避けられる偽電話詐欺などの詐欺被害が増加しているためと推察されるとのこと。(筑後警察署聞き取り)					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度 🏰 (低)

基本事業04 青少年犯罪の抑制

指標	青少年の刑法犯数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【社会教育課】	3	12	5	5	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度と比較すると、減少した。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☑ (達成)

基本事業05 空き家の適正管理

指標	老朽危険家屋の除却件数（累計）（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【防災安全課】	13	14	22	14	☀ (向上)
評価	(状況) R3年度除却件数5件					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						☑ (達成)

基本事業05 空き家の適正管理

指標	空き家バンク取引成約件数（累計）（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【防災安全課】	51	55	60	69	☁ (横ばい)
評価	(状況) R3年度成約件数5件					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						▬▬ (中)

基本事業05 空き家の適正管理

指標	空き家バンク登録件数（累計）（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【防災安全課】	102	120	130	140	☀ (向上)
評価	(状況) R3年度登録件数10件					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						▬▬▬ (高)

政策 06 安心して安全に暮らせるまちづくり

施策 03 消防・救急・救助体制の整備充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	火災による損害額（千円）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【予防課】	4,110	8,746	54,345	1,736	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度より2件増加しているが、損害額は大幅に増加している。 (原因) 1件の建物火災において全体の7割の損害があったため増加した要因である。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						■■■ (低)

指標	市の消防や救急体制に満足している市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【警防課】	91.5	94.1	96.8	97.0	☀ (向上)
評価	(状況) 数値は上昇 (原因) 火災・救急・救助現場での職員の対応や迅速適格な現場対応や各種講習等での対応が市民アンケートの結果に反映していると思われる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■■■ (高)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 消防団の充実強化

指標	平時にすぐに消防活動ができる団員の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【総務課】	45.5	39.2	41.1	45.0	☔ (低下)
評価	(状況) ・昨年度から1.9%上昇 (原因) ・消防団協力事業所へ新規加入した2社の従業員に消防団員が在籍していたため、就業中に消防団活動できる人数が増加したものの。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ■■■ (高)

基本事業02 防火意識の高揚

指標	消防訓練・防災講話等受講者数（人）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【警防課】	7,828	4,659	4,127	10,000	☁ (横ばい)
評価	(状況) 数値は減少 (原因) 昨年に引き続きコロナ禍の影響による部分が大きい。事業所が蜜を避けるため訓練等を実施しておらず、消防署自体も制限等により出向の機会が激減している状況である。					対前年度 ☔ (低下)
						目標達成度 ■■ (中)

基本事業02 防火意識の高揚

指標	人口1万人あたりの火災件数（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【予防課】	1.4	2.4	2.9	2.7	☁ (横ばい)
評価	(状況) 火災件数は昨年比で2件増である (原因) 建物火災、その他火災（野焼きからの延焼）が増加している。原因については人的災害であり、防止できる火災であるといえる。					対前年度 ☁ (横ばい)
						目標達成度 ■■■ (高)

基本事業02 防火意識の高揚

指標	住宅用火災警報器を設置している住宅の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【予防課】	63	0	76	82.0	(---)
評価	(状況) 基準値よりも若干減少している。 (原因) コロナ過であり訪問によるアンケートを実施せず、市民アンケートや広報ちくごでのアンケートを実施したため数値に差異が出た。					対前年度 (---)
						目標達成度 (---)

基本事業03 救急救命体制の充実

指標	市民による心肺停止患者への蘇生術の実施率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【警防課】	64.6	66.7	76.4	75.0	☀ (向上)
評価	(状況) 数値は上昇 (原因) 119番を受診する指令員の口頭指導と救急隊からのプレアライバルコール(出動時の電話による指導)が功を奏していると考えられる。	(％) 				対前年度
		☀ (向上)	目標達成度			
						☀ (達成)

基本事業03 救急救命体制の充実

指標	軽症での救急車利用割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【警防課】	45.7	42.0	42.7	30.0	☀ (向上)
評価	(状況) 数値は上昇 (原因) 昨年より3.2%増加している。新型コロナ搬送や子供の軽症搬送が増加している傾向がある。	(％) 				対前年度
		☀ (向上)	目標達成度			
						■ (中)

基本事業03 救急救命体制の充実

指標	救急救命士複数搭乗率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【警防課】	28.0	19.4	31.6	40.0	(比較不可)
評価	(状況) 数値は上昇 (原因) 前年度と比較すると10%以上の上昇であるが、目標値までは届いていない。新型コロナまん延中は、複数搭乗をさせていない。	(％) 				対前年度
		☀ (向上)	目標達成度			
						■ (中)

基本事業04 防火対象物・危険物施設の適正管理の徹底

指標	立入検査時、消防設備が維持されていない割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【予防課】	13.3	18.4	8.6	10.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度より大幅向上している。 (原因) 前年度の数値があまりよくなく是正指導を強化していた結果がよかったと思われる。	(％) 				対前年度
		☀ (向上)	目標達成度			
						☀ (達成)

基本事業04 防火対象物・危険物施設の適正管理の徹底

指標	危険物施設の火災・漏洩事故発生件数（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【予防課】	0	0	2	0	☂ (低下)
評価	(状況) 危険物許可施設からの事故なし、少量危険物施設から2件の漏えいがあった。 (原因) 2件とも人為的ミスでの漏洩事故である。	(件) 				対前年度
		☂ (低下)				
						目標達成度
						■ ■ ■ (中)

基本事業05 各種消防力の整備

指標	市消防本部で通常対応できなかった出動回数（回）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【警防課】	29	40	53	0	☂ (低下)
評価	(状況) 数値は増加 (原因) 救急件数自体はここ数年減少傾向にある中、輻輳案件は増加していると言える。通報等を筑後地区指令センターで一括管理しており、P A連携等の出動が増加したのも輻輳案件が増加した要因のひとつである。	(回) 				対前年度
		☂ (低下)				
						目標達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業05 各種消防力の整備

指標	資機材トラブル件数（件）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【警防課】	29	28	27	0	☀ (向上)
評価	(状況) 数値は減少 (原因) 経年劣化による故障が過半を占めている。また人為的ミスによる車両の破損や部品の一部破損が4件で、昨年より1件減少した事が要因である。	(件) 				対前年度
		☀ (向上)				
						目標達成度
						(---)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 01 市民協働の推進

あるべき姿

自分のまちを自分たちで担う人が増加し、地域コミュニティが形成されている。

施策の成果状況と評価

指標	地域活動へ参加している市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【協働推進課】	55.4	43.7	46.7	60.0
評価	前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染防止のため地域活動を中止することがある一方、感染症対策を実施のうえ徐々に地域活動が再開されている。またワクチン接種が進み、地域活動への参加は回復傾向が見られる。					対前年度

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域コミュニティ活動の活性化

指標	校区コミュニティ協議会の活動内容を知っている市民割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【協働推進課】	50.9	59.8	58.2	65.0	(横ばい)
評価	各校区コミュニティでは毎月の地域広報を発行するとともに令和2年度よりSNSを活用した新たな情報発信に取り組んでいるが、基準値と比較して微増程度である。最近では様々な情報伝達手段があるため、効果的な手法について検討する必要がある。					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(中)

基本事業01 地域コミュニティ活動の活性化

指標	行政区加入率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【協働推進課】	94.1	93.6	94.2	94.5	(横ばい)
評価	行政区加入促進パンフレットを作成し、各行政区や市窓口にて配布を行っているが、前年比で向上しているものの基準値と比較して微減となっている。区費や役員等の負担のみでなく、災害時の連携や日頃からの見守り等によるメリットについて理解を深めていく必要がある。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(中)

基本事業02 市民活動の活性化

指標	市民活動団体・ボランティア団体の数（団体）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【協働推進課】	37	37	39	39	(向上)
評価	これまでの取組みに加え令和3年度12月より市広報による活動報告を行い令和3年度に目標値に達した。一方、令和3年度に補助金を活用した団体は1団体であった。引き続き登録団体と意見交換を実施し、補助制度の周知や課題整理を行う必要がある。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(達成)

基本事業03 国際化・多文化共生の基盤づくり

指標	多文化共生社会に取り組んでいる市内の事業件数（事業）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【協働推進課】	7	8	8	8	(向上)
評価	令和2年度に窓口部署に設置した多言語翻訳機7台は令和3年度に16件の活用実績があり、外国人相談体制の充実を行っている。また、外国人雇用企業へ訪問し、担当者や外国人より直接話を聞く機会を設けた。今後も多言語による情報提供や窓口対応等を充実していく必要がある。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(達成)

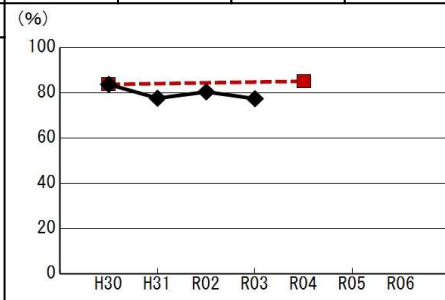
政策 07 持続可能なまちづくり

施策 02 積極的な広報・広聴の展開

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	市政情報が、広報・広聴により適切に共有できていると思う市民の割合(%) 【総務広報課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		(状況) 対基準値、対前年度いずれも低下。 (原因) 広報やホームページ、SNS等、即時性等を考慮し複数の媒体を組み合わせながら適時発信に努めたが、情報を取得しやすく、なおかつ市民が市へ発信しやすいしくみづくりが不十分だったと思われる。	77.5	80.3	77.3	85.0



基本事業の成果状況と評価

基本事業01 広報の充実

指標	市政からの情報がわかりやすく伝えられていると思う市民の割合（％） 【総務広報課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		80.5	81.7	77.3	85.0	☂ (低下)
評価	(状況) 基準値を下回り、前年度から4.4pt低下した。 (原因) 長期化するコロナ禍において、市民生活のデジタル化が進展する中で、SNSツール等による即時発信の対応拡充が不十分であったことによると思われる。					対前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■■■ (高)

基本事業01 広報の充実

指標	パブリシティにより、新聞5紙に掲載された筑後市関連の記事数（件） 【総務広報課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		228	191	161	250	☂ (低下)
評価	(状況) 対基準値、対前年度いずれも低下。 (原因) 新型コロナウイルスの影響によりイベントや地域行事などが中止となり、プレスリリース数が減少（23件）。その結果、掲載件数も減少した。また、新型コロナウイルス関連情報の発信も大幅に減少したためと考えられる。					対前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■■ (中)

基本事業02 広聴の充実

指標	市民が意見を行政に伝える機会に満足している市民の割合（％） 【総務広報課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		74.5	78.8	77.2	85.0	☂ (低下)
評価	(状況) 対基準値、対前年度ともに低下。 (原因) コロナ禍で来庁制限、集合形式での会議制限等、対面での協議、意見交換等の機会が制限されたこと、出向いて現場の声を聞く「企業(団体)訪問」も感染拡大防止の観点から実施できていないことなどが要因ではないかと思われる。					対前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■■■ (高)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 03 持続可能な行政経営

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	全施策の市民満足度平均 (pt)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【企画調整課】	3.08	3.09	3.04	3.10
評価	(状況) 低下。平均値は微減だが施策ごとに見れば全27施策中19施策、7割が前年比低下している。 (原因) コロナ禍による行動制限やサービスの一次休止、雇用や生活への影響、物価高騰等が各施策への不満として現れた可能性がある。					☔️ (低下)
						■ (低)

指標	総合計画(施策・基本事業)の成果指標向上割合(対基準値)(%)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【企画調整課】	57.6	51.5	53.4	70.0
評価	(状況) 236成果指標の内126施策・事業の成果指標(対基準値)が向上している。また、R3時点でR4目標値を既に達成している成果指標が67となっている。 (原因) コロナウイルスの感染拡大により、イベントを主とした事業、観光事業等の値が大幅に低下したことが大きな要因。					☁️ (横ばい)
						■ (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 PDCAサイクルの実践

指標	P D C Aサイクルのための取り組み平均実践項目数（監督職以上）（6項目中）（項目）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【企画調整課】	2.3	2.2	2.4	3.6	(横ばい)
評価	(状況) 数値は微増、ほぼ横ばい (原因) 突発的な新型コロナ対策業務が多く、通常業務のcheck(評価)とaction(改善)が先送りされていることが一因と考えられる。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(低)

基本事業01 PDCAサイクルの実践

指標	人事評価における改善実践力の平均点（5点満点）（点）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【企画調整課】	2.94	2.97	3.01	3.30	(横ばい)
評価	(状況) 微増、ほぼ横ばい (原因) 昨年度と同様に突発的な新型コロナ対策業務により、通常業務の改善が先送りされていることが一因と考えられる。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(中)

基本事業01 PDCAサイクルの実践

指標	事務事業の成果指標向上割合（対基準値）（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【企画調整課】	取得不可	37.5	46.1	52.0	(横ばい)
評価	(状況) 事務事業の497成果指標の内、向上した指標が192、低下した指標が204、変化なし等が102となっている。 (原因) 参加者や利用者を成果指標としているものは、依然として低下傾向が続いているが、それ以外については、社会活動がコロナ前に戻ってきていることの影響を受けている。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(低)

基本事業02 ICTによる情報の適切な管理と利活用

指標	市のICTサービスを利用している市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【企画調整課】	49.3	56.7	58.9	50.0	(向上)
評価	(状況) 目標値を達成している (原因) さんあーる（ごみ分別アプリ）が大きく伸び、施設予約、アプリ収納が加わったことにより指標をさらに伸ばしている。併せてマイナンバーカードを使った申告（マイナポイント等も含まれる可能性はあるが）も伸びている。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(達成)

基本事業03 転入の促進と転出の抑制

指標	転入者数（外国人含む）（人）	実績値（H31）	実績値（R02）	実績値（R03）	目標値（R04）	対基準値
	【企画調整課】	2,633	2,185	2,012	2,400	☂ (低下)
評価	（状況）転入者数は前年度と比較して大幅に減少した。（173人） （原因）新型コロナの影響により技能実習生を主とした外国人の転入(入国)が激減したことに起因する。（前年度177人 38人）					対前年度
						☂ (低下) 目標達成度 ■■■ (低)

基本事業03 転入の促進と転出の抑制

指標	転出者数（外国人含む）（人）	実績値（H31）	実績値（R02）	実績値（R03）	目標値（R04）	対基準値
	【企画調整課】	2,275	2,200	2,056	2,300	☀ (向上)
評価	（状況）前年度比144人減少となったが、転入が減り、転出超過となった。 （原因）新型コロナウイルスの影響により全国的に人の動きが抑えられたことが要因の1つと考えられる。					対前年度
						☀ (向上) 目標達成度 ■■■ (達成)

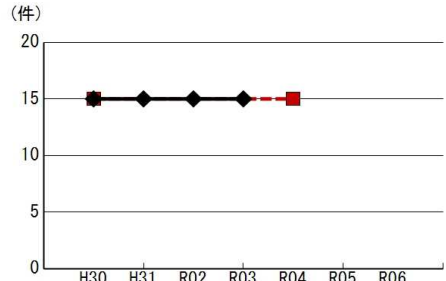

基本事業03 転入の促進と転出の抑制

指標	居注意欲度の県内順位（位）	実績値（H31）	実績値（R02）	実績値（R03）	目標値（R04）	対基準値
	【企画調整課】	6	16	9	7	☂ (低下)
評価	（状況）順位は全国522位から349位へと上昇した。 （原因）順位の基準となる点数は、6.0点と前年度比+1.2ポイント増加した。しかし、他市の点数も上昇したため、大幅なランクアップとはならなかった。					対前年度
						☀ (向上) 目標達成度 ■■■ (中)

基本事業04 広域連携の推進

指標	広域行政（連携）によって効率的かつ効果的にまちづくりが進められていると思う職員の割合（％）	実績値（H31）	実績値（R02）	実績値（R03）	目標値（R04）	対基準値
	【企画調整課】	23.3	27.2	30.6	30.0	☀ (向上)
評価	（状況）前年度より約3%上昇。職種：事務職が約3%、技術職等が約18%上昇。年代：30歳代が約15%、30歳未満が約3%上昇。 （原因）係長職以上の数値は低く、係長未満の数値が上昇していることから、業務に基づく具体的理由ではなく、若年層が感覚的に選択していると思われる。					対前年度
						☀ (向上) 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業04 広域連携の推進

指標	本市を含む地方公共団体の組合等で共同処理されている事務事業件数 (件) 【企画調整課】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
			15	15	15	15
評価	(状況) 変化なし	(件) 				対 前年度
						目 標 達成度
						 (達成)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 04 持続可能な財政運営

あるべき姿

将来世代に負担を先送りすることなく、将来にわたって持続可能な行財政構造が構築されている。

施策の成果状況と評価

指標	経常収支比率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【財政課】	93.6	91.8	87.6	92.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度に比べて4.2ポイント改善した。 (原因) コロナ禍の影響により落ち込むと想定していた市税収入が過去最高を記録するなど、分母となる経常一般財源収入が増加したことが大きな要因。コロナ禍の不確定要素が含まれているため、状況の推移を注視する必要がある。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

指標	財政調整基金残高（億円）（億円）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【財政課】	22.9	22.9	22.9	20.0	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度を維持 (原因) 昨年度と同様に、コロナ対策事業については地方創生臨時交付金など、国の財政支援を活用しながら対応し、取り崩しを行わずに済んだ。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

指標	市の行政運営や税金の使い方に納得していない市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
	【財政課】	10.9	8.4	7.7	10.0	☀ (向上)
評価	(状況) 0.7ポイント向上 (原因) 回答総数が若干増加し、その分は概ね「納得できる」回答へ流れている状況である。指標としては改善。昨年度に引き続き、国の給付も含めたコロナ対策事業の評価と思われる。納得できない理由の傾向は変わらない。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 税収等による歳入確保

指標	市税収納率[現年度分](%)	実績値(H31)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R04)	対基準値
	【税務課】	99.0	98.7	99.2	99.0	(横ばい)
評価	(状況)前年度より0.5ポイント向上した。 (原因)コロナウィルスの影響による徴収猶予措置はなく、収納率は改善の傾向を見せている。しかし依然として経済状況は厳しく、今後も適正徴収に努め収納率を維持向上する必要がある。					対前年度 (向上)
						目標達成度 (達成)

基本事業01 税収等による歳入確保

指標	保育料の収納率(%)	実績値(H31)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R04)	対基準値
	【財政課】	98.9	98.4	98.7	99.0	(向上)
評価	(状況)前年度より0.3ポイント向上した。 (原因)「コロナ禍による収入減」を理由とする納付相談はあったものの、そのようなケースでも年度末には納付に至るものも見られた。12月以降、子育て世帯への給付金を始めとする各種給付金が支給されたことが寄与したと思われる。					対前年度 (向上)
						目標達成度 (高)

基本事業01 税収等による歳入確保

指標	住宅使用料の収納率(%)	実績値(H31)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R04)	対基準値
	【財政課】	99.5	99.9	100.0	98.5	(向上)
評価	(状況)対前年度比0.1ポイント向上し、数字が残る昭和53年度以来初の100%を達成した。 (原因)滞納者に対し、滞納発生後、即時の電話連絡や自宅訪問を行うなど、対応を強化した。また、現実的に支払いが困難な者を生活困窮者自立支援制度や生活保護制度に繋ぐといったフォローも奏功した。					対前年度 (向上)
						目標達成度 (達成)

基本事業01 税収等による歳入確保

指標	道路水面占用料の収納率(%)	実績値(H31)	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R04)	対基準値
	【財政課】	99.2	99.6	99.6	99.4	(向上)
評価	(状況)昨年度と同じ99.6%となった。 (原因)滞納対策として、訪問徴収や電話催告など、課を上げての取り組みを行った結果、昨年に引き続き高い徴収率の維持に至った。					対前年度 (横ばい)
						目標達成度 (達成)

基本事業02 計画的な財政運営

指標	実質公債費比率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【財政課】	7.6	8.1	8.4	9.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度から0.3ポイント悪化 (原因) 近年の防災・減災に係る事業や公共施設マネジメント関連事業に伴う地方債借入に伴う償還額は若干の増加となった。単年度では標準財政規模が増加したため、前年度よりも改善したものの、指標値である3年間平均は悪化となったもの。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 計画的な財政運営

指標	実質収支比率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【財政課】	7.3	8.2	15.5	3.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度に比較して7.3ポイント向上 (原因) 想定に反し、税収、交付税収入などが増加したことが要因となって単年度収支が大幅黒字となった。このことにより実質収支比率が向上。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

指標	2022（令和4）年度までの施設(ハコモノ)の削減率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【財政課】	3.4	3.4	3.4	2.5	☁ (横ばい)
評価	(状況) H31実績と変わらず3.4%となった。(原因) R3年度中に売却を予定していた筑恋亭は登記内容の整理に時間を要し、現在売却未済。R4年6月に入札予定。窓ヶ原体育館は必要経費を今年度予算に計上しR4年度中に除却予定。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

指標	主要建物更新計画策定率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
	【財政課】	100	100	100.0	100.0	☀ (向上)
評価	(状況) 主要4施設（公営住宅、衛生センター、小中学校、サザンクス筑後）について個別施設計画策定し目標達成。 (次年度の課題) 主要な施設の個別施設計画については全て策定を完了した。次期総合計画の策定に際し、他の施設まで含めた成果指標の設定について検討していく必要がある。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

指標	公共建築物長寿命化計画に基づく（中・大規模）改修達成率（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		【財政課】	91.7	69.2	100.0	80.0
評価	（状況）公共施設マネジメント委員会で認定した工事15件について、全て予算化することができた。 （原因）予算編成時に作成した中期財政収支見通しの中でマネジメント経費を見込み歳出予算の規模を設定したことが奏功した。					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達成度	☀ (達成)		

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

指標	庁舎建設基金残高（億円）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		【財政課】	16	17	18	19
評価	（状況）予定通り1億円の積み立てを実施。 （次年度の課題）新型コロナの影響やウクライナ情勢、円安の進行による物価高騰等、予算編成における不測の要因が多数存在する中でも着実な積立を実施する必要があるとともに、将来的な庁舎建設費用の高騰も見据える必要がある。					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達成度	☀ (高)		

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 05 市民から信頼される職員・組織づくり

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	職員の仕事ぶりに満足している市民の割合（％）	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
		【市長公室】	81.6	85.4	89.8	90.0
評価	前年度比4.4%向上。20～39歳の世代では前年度比約9%向上。また、子育てしやすい環境が整っていると思う市民の割合も向上したことから、子育てに係る環境整備などが子育て世代の理解を得ることに繋がったと推察される。また、コロナ禍における各種対策事業なども向上した要因と考えられる。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度 ■■■ (高)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 効率的かつ機能的な組織づくり

指標	市の組織は効率的かつ機能的になっていると思う職員の割合（％） 【市長公室】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		63.0	71.3	79.7	67.0	☀ (向上)
評価	前年比8.4%向上。向上した理由として、コロナ禍における突発業務へ対応するためにプロジェクトチーム等組織横断的に取り組んだことが1つの要因と考える。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業01 効率的かつ機能的な組織づくり

指標	人口1万人当たり職員数（類似団体の平均値に対する割合）（％） 【市長公室】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		65.2	64.7	64.6	65.0	☀ (向上)
評価	前年からほぼ横ばいの状況。限られた財源で市の課題を解決していくため、所属を超えた応援体制や会計年度任用職員の活用など、最適な組織機構と人員配置を行ったため。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標	人材育成（諸施策）により職員の能力が向上していると思う職員の割合（％） 【市長公室】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		51.6	54.8	63.3	55.0	☀ (向上)
評価	前年比8.5%向上。人事評価結果の活用等これまでの蓄積の結果、一定職員の能力向上に繋がった可能性がある。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標	職員全体の待遇が適切だと思う職員の割合（％） 【市長公室】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対 基準値
		76.7	82.2	84.8	95.0	☀ (向上)
評価	前年比2.6%向上。向上した要因としては待遇委員会の取組みや住民からのお褒めの言葉や指摘等、必要に応じた職員周知が待遇に対する意識を高めた結果と考えられる。また、「できていない」と思っている職員は30代・40代が高いことから職員の待遇に対する見方が厳しいことが分かる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■■■ (低)

基本事業03 健康で安全して働ける職場づくり

指標	年次有給休暇（5日未満）・超過勤務（月45時間・年360時間超）・公務災害に該当した職員数（人） 【市長公室】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
				210	212	347
評価	年休取得5日未満：75人 時間外月45時間超：229人 時間外年360時間超：38人 公務災害：5人 ワクチン接種、新型コロナへの対応(間接的なもの含む)、マイナンバー事業、及び選挙対応による影響により時間外勤務が増加した。R2と比較するとワクチン接種対応によるものが顕著であった。	(人) 				対前年度
						目標達成度 ■ (低)

基本事業03 健康で安全して働ける職場づくり

指標	法令遵守が徹底されている職場になっていると思う職員割合（％） 【市長公室】	実績値 (H31)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	対基準値
				84.2	87.2	87.9
評価	そう思う 46人 どちらかといえばそう思う 237人 283人÷322人(全回答者数) 昨年度よりわずかに成果向上している。多少改善したものの消防は約1/4が徹底されていないとの回答であり引き続き改善を図る必要がある。	(％) 				対前年度
						目標達成度 🏰 (達成)